

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587069501	科目番号 / Course code	05870695
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b1法と人権の多様性 / Legal Pluralism and Human Rights		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河村 有教		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	河村 有教		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	河村 有教		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawamura_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟(多文化社会学研究科・多文化社会学部)11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2953(研究室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前に連絡してアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業は、理系の学生を対象として社会科学(刑事法学)の基礎知識を提供するものである。本授業においては、日本の刑事法(刑法、刑事訴訟法、少年法)や日本の刑事裁判例を切り口として、法と人権について学習する。法解釈の多様性を中心に、諸外国における「法」の多様性、「人権」の多様性についてもあわせて学習する。法律の学習に関心のある理系の学生を対象とする法学への入門(入り口)として、基礎的なことから解説する。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び、考え、主張し、行動すること」ができ、「分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につける」ことを目的とする(全学共通のディプロマ・ポリシー)。既存の法及び制度を批判的に論じ、よりよい法や制度となるように、未来社会を構想し得る力を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験を実施する(60%)。授業への出席及びコメントシートの提出(40%)。 オンライン授業になった場合には、レポート等の課題を課し、レポートの提出を求めることもある。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	教科書については、事前の予習、事後の復習の教材としても役立ててください。授業のテーマに関わりそうな図書や雑誌、新聞記事等の資料を読み、「法と人権」の問題について考えること。(予習2時間・復習2時間)		
キーワード/Keywords	法, 人権, 法解釈, 刑法, 刑事訴訟法, 少年法		

教科書・教材・参考書/Materials	<p>【教科書】河村有教ほか編『刑事法判例読解の視点』（晃洋書房，2021年） 教科書・参考書等については、初回の講義で説明を聞き確認したうえで購入してください。</p> <p>『ポケット六法』（有斐閣）の購入をお勧めします（『デイリー六法』（三省堂）も可です）。試験で六法の持ち込みを可としています。不正行為防止の点から試験では、PCやi phone等を利用した六法検索は認められません。法律改正や新しく立法される法律があるので、六法については最新版を購入のこと。</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考/Remarks	本講義は、すべて対面で実施する予定です（試験を含みます）。
学生へのメッセージ/Message for students	法学、法律学に関心のある学生さんを歓迎します。楽しく学習しましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	日本における「法」と法解釈
第2回	正当防衛
第3回	薬物事犯における故意の認定
第4回	過失犯の成否
第5回	量刑
第6回	死刑
第7回	ストーカー行為規制法における「見張り」
第8回	強盗罪の「暴行」・「脅迫」
第9回	詐欺罪と窃盗罪
第10回	捜査機関による任意の活動が許される範囲
第11回	被疑者・被告人の身柄拘束と身柄解放
第12回	接見等禁止の裁判に対する準抗告
第13回	違法収集証拠
第14回	少年審判と処分
第15回	「法」・「人権」・「法解釈」の日本の特徴について
第16回	期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593006701	科目番号 / Course code	05930067
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b1生物と文化の多様性 / Introduction to Biocultural Diversity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	佐藤 靖明, 河村 有教		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	佐藤 靖明		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	佐藤 靖明		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-sato@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2922		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (メールにて要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本科目は、生物多様性と文化多様性の「関係」にたいする考えを深めることを目的としています。人類学、社会学、生物学など広い分野からのアプローチを提供するが、その中でもとくに民族生物学と生き物文化誌学の研究に注目します。それをとおして、「生物文化多様性」という概念の理解を目指します。</p> <p>いわゆる理系と文系の両方の内容を含むが、基礎的な事項から解説していく入門的な授業とする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>「自ら学び、考え、主張し、行動すること」ができ (全学DP1)、「分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につける」こと (全学DP2) を目的とします。現在の生物多様性や文化多様性の現状を踏まえ、今後の社会や文化のあり方を思考する力を身につけることが目標です。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の課題(50点) + レポートによる評価(40点) + 授業への取組み(10点)=合計100点のうち60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>【予習】次回講義のテーマとキーワードを提示するので、関係する内容を各自、文献やWeb等で調べておくこと。(2h) 【復習】講義資料を復習すると共に、講義時のレポート課題に関して、講義資料で紹介されたHPや文献で理解を深めること。(2h)</p>		
キーワード/Keywords	生物文化多様性、生き物文化、ドメスティケーション、里山、暮らし、在来知		
教科書・教材・参考書/Materials	【参考書】敷田麻実・湯本貴和・森重昌之(2020)『はじめて学ぶ生物文化多様性』講談社。他の参考書等については、毎回の講義で紹介します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	すべて対面授業とします。
学生へのメッセージ/Message for students	生物文化多様性は、「人間は何者なのか」といった普遍的な問いから、「これからの地球をどうしたらいいか」といった未来への問いまで、さまざまな関心につながっていきます。この授業をとおして新たな視野を得ていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	生物文化多様性とその魅力
第2回	関係論的アプローチ
第3回	民族生物学の世界
第4回	生き物文化誌学の世界
第5回	生態系と文化の相互作用(1)
第6回	生態系と文化の相互作用(2)
第7回	都市と生物文化多様性
第8回	都市生態系と生物文化多様性
第9回	自然保護地域と生物文化多様性(1)
第10回	自然保護地域と生物文化多様性(2)
第11回	観光・交流と生物文化多様性
第12回	生物文化多様性を活かす政策
第13回	新しい自然観の提案
第14回	生物文化多様性の可能性
第15回	ディスカッション 生物文化多様性と生活・地域・社会・地球
第16回	まとめ

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587053301	科目番号 / Course code	05870533
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15421_005		
授業科目名 / Course title	b2音楽と社会 / Music and Community		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館516室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	昼休み (事前にメールにてアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本講義では、共に奏でることとそれによって人々がつながりあうことの意義について体験を通して考えることを主とする。実技も含むが、音楽の得意・不得意は一切問わない。音楽に苦手意識のある方の受講を歓迎する。いわゆるクラシック音楽は、講義内容に含まれないため注意すること。</p> <p>音楽を演奏する行為は、その原初は、遊びであると同時に、コミュニティ形成のための一つ的手段だったはずである。音楽がプロ化することで、一部の人が奏で、その他大勢は聴き手にまわる文化状況が生まれ、それによって音楽の技術力は飛躍的に伸長するが、その一方で、多くの人々が音楽に音楽に参与する機会が社会の中で減少した。</p> <p>近代化した社会では減少してしまった「誰かと共に気楽に音楽を奏でる」という行為は、個人のウエルネスやコミュニティ形成にとって重要であることは今も変わらない。この点について、民族音楽学者、トマス・トゥリノ氏の理論的な枠組みを使って体験的に考察を深めていく。また、ウエルネスの実現のために音楽が果たす役割について体験をもとに考えるために、音楽と関連させたヨガの体験を行う。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>音および音楽の表現力・影響力について体験的に理解し、それについてことばで語ったり書いたりすることができる。</p> <p>自らの体験や考えを分かりやすく相手に伝えることができる。</p> <p>自らと音楽の関係、音楽を通じた他者とのかかわり、社会における音楽の役割について考えを述べるすることができる。</p> <p>持続可能な開発について音楽を切り口として考えることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート・提出物 70% 出席・講義への参加度 30% 授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	復習課題：講義内容の振り返り 2h 予習課題：課題文献の要約 2h
キーワード/Keywords	参与型音楽 ワークショップ ヨガ
教科書・教材・参考書/Materials	ヨガの体験の際に、床に敷くためのバスタオルが必要となるため持参すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	対面で行う。
学生へのメッセージ/Message for students	できるだけ欠席をせず講義に参加すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	木部崎 幸子/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を有している。/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を活かし、現代社会におけるアーティストという職業について、これまでの経験をもとに話をさせていただくことで、音楽と社会の関わりの一側面について明らかにする。また、もう一つは、グローバル化の中で、伝統音楽の今とこれからがどうなっていくのか、いくべきなのかについての授業を実施する。/ 西田 治/音楽ワークショップの開催経験を持つ。人と音楽のかかわりについて、ワークショップの実施経験を踏まえて講義を実施する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 音で遊ぶ(対面)：担当 西田 治
第2回	ヨガと音楽(対面)：担当 木部崎 幸子
第3回	グループでの即興演奏1(対面)：担当 西田 治
第4回	ヨガのアート(対面)：担当 木部崎 幸子
第5回	グループでの即興演奏2(対面)：担当 西田 治
第6回	体調を整えることと音楽(対面)：担当 木部崎 幸子
第7回	サウンドスケープ1(対面)：担当 西田 治
第8回	マインドフルネス1(対面)：担当 木部崎 幸子
第9回	サウンドスケープ2(対面)：担当 西田 治
第10回	マインドフルネス2(対面)：担当 木部崎 幸子
第11回	参与型音楽の概要(対面)：担当 西田 治
第12回	ミュージックメディスン(対面)：担当 木部崎 幸子
第13回	持続可能な音楽行為(対面)：担当 西田 治
第14回	音楽と呼吸(対面)：担当 木部崎 幸子
第15回	気づきを向けること(対面)：担当 木部崎 幸子

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587056501	科目番号 / Course code	05870565
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15501_005		
授業科目名 / Course title	b2芸術活動と社会 / Art Projects and Social Engagement		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	北村 史 / Kitamura Fumito, 西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	北村 史 / Kitamura Fumito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	北村 史 / Kitamura Fumito		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kitamura@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス・研究開発推進機構棟2階・情報データ科学部PBL実習室奥		
担当教員TEL/Tel	095-800-4188		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日13:00~14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近年、国内各地で大規模な芸術祭が開催されるようになった。それら多くの芸術祭に共通する特徴として、地域の資源を活用した作品作りや、地域社会・住民を巻き込んだプロジェクト型の取り組みがあり、コミュニティ形成の活動にもなっている。本授業では、このような活動を事例として取り上げ、芸術を発端としたコミュニケーションとコミュニティ形成の過程について学んでいく。毎回の授業の後半には、年度ごとに決めたテーマに沿って、グループで作品制作活動に取り組む。		
授業到達目標/Course goals	a. 芸術文化の実践が社会にどのような影響し得るかを自分の言葉で説明できる b. ワークショップ活動の教授学習過程としての特徴を説明できる c. 与えられたテーマについて考え、作品にすることができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	(調べ学習個別課題10点×2回)+(掲示板コメント課題10点×3回)+(作品制作25点)+(グループ ワークへの貢献10点)+(論述テスト15点)=100点満点のうち、60点以上を合格とする。配点につ いては微調整をする場合もある。そのような場合は、その都度知らせる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回の授業後に予習復習(4h)のための課題を知らせます。課題には以下のものが含まれます。 資料を閲覧視聴した後の掲示板ディスカッション グループでの準備活動		
キーワード/Keywords	美術、芸術、ソーシャリー・エンゲイジド・アート、ワークショップ、コミュニティ		
教科書・教材・参考書/Materials	購入指定する教科書はなし。参考とする書籍等については、授業内で紹介する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。	
学生へのメッセージ/Message for students	美術、芸術、現代アートに興味のある方に履修をおすすめします。また、授業では体験活動や制作活動に取り組みますので、積極的にそういった活動を楽しめる方でない、不毛な時間となることを期待します。特に制作活動においては、教員と学生の間でフラットにアイデアを交流させられることを期待します。解が一つではない問に対して、より良い解（表現）を探り、こだわりのある答えに行き着けると楽しいと思います。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	北村史/杉並区立杉並芸術開館「座・高円寺」などでワークショップコーディネータとしての実務経験を有している。/その実務経験を活かし、地域社会の芸術活動について体験を交えた授業を実施する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション グループ分け（アイスブレイク） 芸術経験に関する調査 （対面）	A
第2回	お気に入りの作家・作品を見つける 制作活動（1） （対面）	B C
第3回	地域社会と文化事業 瀬戸内国際芸術祭の事例 地域社会にとってアートはどんな役割を果たすか アーティストを招く意味、アーティストの職能とは （対面）	A
第4回	お気に入りの作家・作品の紹介 制作活動（2） （対面）	B C
第5回	ソーシャリー・エンゲイジド・アートについて 体験を作品とするアート ワークショップという活動について （対面）	A
第6回	お気に入りの作家・作品の紹介 制作活動（3） （対面）	B C
第7回	レッジョ・エミリア・アプローチ 教授学習過程としてのワークショップ ワークショップの活動事例 （対面）	A
第8回	制作活動（4） （対面）	B C
第9回	ワークショップ体験 （対面）	B C
第10回	制作活動（5） （対面）	B C
第11回	制作活動（6） （対面）	B C
第12回	制作活動（7） （対面）	B C
第13回	作品発表 （対面）	B
第14回	作品発表 （対面）	B

第15回	発表会のふりかえり（ディスカッション） 本授業のまとめ（論述テスト） （対面）	B
------	---	---

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587040101	科目番号 / Course code	05870401
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12541_005		
授業科目名 / Course title	b3数と自然 / Number and Nature		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小松 尚夫 / Komatsu Takao		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小松 尚夫 / Komatsu Takao		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小松 尚夫 / Komatsu Takao		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	komatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部3階312		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日16:00-17:00 (授業後)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業の前半では、諸問題を解きながら整数の性質を学ぶ。整数に関する問題は、実際に解こうとすると難しい問題が多いことに気づく。その背後にある理論を理解し、整数の世界の奥深さを感じてほしい。後半では、有理数、実数の世界まで考察する対象を広げ、それらの基本的性質を学ぶ。様々な不思議な性質に触れることで、数へのさらなる興味をもたれることを期待する。		
授業到達目標/Course goals	自然数と整数について性質を理解し、証明できる。 ユークリッド互除法のしくみを理解し、具体的に問題を解けるようになる。 合同式の計算ができるようになる。 分数、小数、無理数について性質を理解し、証明できる。 連分数展開ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験60点 + 平常点40点 = 合計100点。 60点以上が合格。 平常点は授業中の発表回数を主とし、随時行う小テスト、レポート、授業への貢献などをもとに評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・ 事前に配布する資料を読むこと(2h) ・ 次の授業までに、前回の内容の中でわからなかった部分はそのままにせず、理解するまで考えること(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	参考書：初等整数論9章；第2版 James J. Tattersall (著), 小松 尚夫 (翻訳) 森北出版		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	基本的に対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	記号について・集合(対面)
第2回	自然数と整数(対面)
第3回	素数と素因数分解(対面)
第4回	素因数分解(対面)
第5回	合同式(対面)
第6回	孫子の剰余定理(対面)
第7回	分数(対面)
第8回	少数(対面)
第9回	無理数(対面)
第10回	実数(対面)
第11回	連分数展開(対面)
第12回	指数(対面)
第13回	対数(対面)
第14回	まとめ1(対面)
第15回	まとめ2(対面)
第16回	定期試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587047901	科目番号 / Course code	05870479
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12331_005		
授業科目名 / Course title	b3日本語と社会 / Japanese and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前田 桂子 / Keiko Maeda, 久保田 さゆり / Kubota Sayuri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	前田 桂子 / Keiko Maeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	前田 桂子 / Keiko Maeda, 久保田 さゆり / Kubota Sayuri		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	前田 kmaeda_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 久保田 syrkubota_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	前田 教育学部棟6階 624研究室 久保田 教育学部棟6階 610研究室		
担当教員TEL/Tel	前田 2301 久保田 2313		
担当教員オフィスアワー/Office hours	前田 火5 久保田 火5		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	前半では、現代において進みつつある文法変化や意味変化、方言と共通語など身近な例を取り上げ、日本語の諸問題について考察する。また後半では、人間以外の動物や環境をめぐる倫理などを例に、社会と言葉と規範にまつわるさまざまな問題を考察する。		
授業到達目標/Course goals	身近な日本語の成り立ちについて理解を深め、その理由を自ら探求し、自分の言葉で説明する能力を身に付ける。また、私たちの生きる社会に存在する価値判断や規範について、多文化的な視点も加えつつ理解を深め、自身の言葉で説明する能力を身に付ける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中に課すレポート、小テスト (30%) 試験 (70%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業後の振り返りと、次回の予習に各2時間程度の学習を求めます。		
キーワード/Keywords	現代語、文法、流行語、方言、価値、規範、動物		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	身近な日本語の由来や特徴を知り、日常的に使用している自らの日本語を内省します。積極的な参加を求めます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	前田桂子/高等学校（国語）非常勤講師/高校の授業に活かせることばの知識を念頭に講義を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 文字について （対面）：担当 前田
第2回	語彙について （対面）：担当 前田
第3回	訳語と外来語 （対面）：担当 前田
第4回	標準語と俗語、若者語 （対面）：担当 前田
第5回	敬語 （対面）：担当 前田
第6回	方言 （対面）：担当 前田
第7回	変化する文法 （対面）：担当 前田
第8回	総括、確認テスト （対面）：担当 前田
第9回	価値をめぐる議論と対話の方法（オリエンテーション） （対面）：担当 久保田
第10回	社会と規範1：法と倫理 （対面）：担当 久保田
第11回	社会と規範2：さまざまな倫理理論 （対面）：担当 久保田
第12回	文化の価値 （対面）：担当 久保田
第13回	言葉と規範 （対面）：担当 久保田
第14回	環境をめぐる倫理 （対面）：担当 久保田
第15回	社会のなかの動物と倫理 （対面）：担当 久保田
第16回	期末試験 （対面）：担当 久保田

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587037702	科目番号 / Course code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Course title	b4身のまわりの科学 / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	武藤 浩二 / Cosy MUTO, 藤本 登 / Fujimoto Noboru, 及川 大地 / Oikawa Daichi, 鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	武藤 浩二 / Cosy MUTO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	武藤 浩二 / Cosy MUTO, 藤本 登 / Fujimoto Noboru, 及川 大地 / Oikawa Daichi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	武藤: cosy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) 藤本: n-fuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) 及川: daichioi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	武藤: 教育学部 技術美術教室棟 206室 藤本: 教育学部 技術美術教室棟 111室 及川: 教育学部 本館 323室		
担当教員TEL/Tel	武藤: 095-819-2361 藤本: 095-819-2360 及川: 095-819-2375		
担当教員オフィスアワー/Office hours	武藤: 火曜2校時, 木曜1校時及び金曜1校時 藤本: 8:00~8:45及び昼休み 及川: 月曜3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちの生活に潜む問題点を科学的な視点から捉え, 自分なりの解決策を考えます。		
授業到達目標/Course goals	自ら生活や社会に潜む問題点を発見し, それを解決するための考え方とスキルを身につける。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各回の課題(ディスカッション等の授業貢献を含む): 70% 最終レポート: 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 事前配布資料に目を通した上で講義に臨むこと。事前課題がある場合は実施しておくこと。また関連するニュース記事を収集し, 分析しておくこと。内容によっては事業者等に問い合わせが必要になるものもありますので, 講義やLACSの指示に注意してください。(2h) 事後学習: テキストとレジュメを再読し, 理解を確実にするよう努めること。その上で課題に取り組み提出すること。(2h)		
キーワード/Keywords	科学と疑似科学, AI, エネルギー, 食品・栄養, 放射線, 納得力		

教科書・教材・参考書/Materials	<p>授業資料は適宜配布するか、LACSに掲載します。</p> <p>参考書及び参考資料：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢田哲治ほか（編），科学技術をよく考える クリティカルシンキング練習帳，名古屋大学出版会，2013</li> <li>・安斎育郎，人はなぜだまされるのだろうか？，かがわ出版，2011</li> <li>・菊地誠，科学と神秘のあいだ，筑摩書房，2010</li> <li>・デイヴィッド・ボダニス，電気革命 モールス、ファラデー、チューリング，新潮文庫10514，新潮社，2016</li> <li>・世界自然保護基金ジャパン，エコロジカル・フットプリント・レポート日本2014</li> <li>・省エネルギーセンター，エネルギー経済統計要覧</li> <li>・経済産業省，エネルギー白書</li> <li>・環境省，環境・循環型社会・生物多様性白書</li> </ul> <p>など</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	生活や社会を改善したい，未来のエネルギー社会を考えたい学生
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948  （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考/Remarks	<p>この授業は【対面】で実施し，講義のほか少人数編成（概ね4名/Gr）のグループワーク等とプレゼンテーションを行います。</p> <p>実験を行う授業回があります。</p>
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>武藤浩二/技術系国家公務員として国の通信組織の構成・維持・運営，通信電子機材の研究開発・メーカー技術指導/公益財団法人技術系担当課長として，半導体ベンチャー企業に対するインキュベーション支援/電子機器製造業技術系社員に対する講義/高校生対象のロボットプログラミング教室・小中学生対象の電子工作教室の講師</p> <p>藤本 登/工学部助手等で，実験装置の設計、製作、測定。北九州市立科学館等でロボット教室の講師。企業等の指導・共同研究。/シラバスの機構及び制御に関する内容について，学校現場の状況，子どもの理解度，教材化及び実用化に関する具体的な例示と演示/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	<p>テーマ：身の回りに潜む科学と疑似科学（オリエンテーションを含む）【対面】</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第2回	<p>テーマ：サイエンスとフィクションの狭間【対面】</p> <p>・個人課題付与</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第3回	<p>テーマ：情報技術の将来と私たちの社会生活 1【対面】</p> <p>・講義及びグループ討論</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第4回	<p>テーマ：情報技術の将来と私たちの社会生活 2【対面】</p> <p>・グループ討論結果プレゼンテーション</p> <p>・個人課題付与</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第5回	<p>テーマ：エネルギーが途絶したら 1【対面】</p> <p>・講義及びグループ討論</p> <p>担当：武藤浩二，特別講師（未定）</p>
第6回	<p>テーマ：エネルギーが途絶したら 2【対面】</p> <p>・グループ討論結果プレゼンテーション</p> <p>・個人課題付与</p> <p>担当：武藤浩二，特別講師（未定）</p>
第7回	<p>テーマ：食品を考える 1【対面】</p> <p>担当：及川大地</p>
第8回	<p>テーマ：食品を考える 2【対面】</p> <p>担当：及川大地</p>
第9回	<p>テーマ：栄養を考える 1【対面】</p> <p>担当：及川大地</p>

第10回	テーマ：栄養を考える 2【対面】 担当：及川大地
第11回	テーマ：放射線を通して原子力発電について考える 1（放射線の影響と利用）【対面】 担当：藤本登
第12回	テーマ：放射線を通して原子力発電について考える 2（放射線関連の実験）【対面】 担当：藤本登
第13回	テーマ：高レベル放射性廃棄物の処分問題を考える 1（高レベル放射性廃棄物処理とは）【対面】 担当：藤本登（原子力発電環境整備機構：NUMOとのコラボWS）
第14回	テーマ：高レベル放射性廃棄物の処分問題を考える 2（高レベル放射性廃棄物処分地選定）【対面】 担当：藤本登（原子力発電環境整備機構：NUMOとのコラボWS）
第15回	全体討議：持続可能な社会に必要な人材とは【対面】 ・最終レポート課題提示 担当：武藤浩二

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593002101	科目番号 / Course code	05930021
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b4持続可能な社会づくり / Creating a sustainable society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 宮津 寿美香 / Sumika Miyatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 宮津 寿美香 / Sumika Miyatsu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	鎌田: e-kamada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変えてください) 高橋: kosuket nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変えてください) 石川: izumi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変えてください) 宮津: sumikamiyatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変えてください)		
担当教員研究室/Office	鎌田: 教育学部 美術技術教室 115室 高橋: 教育学部2階 233研究室 石川: 教育学部2階 231研究室 宮津: 教育学部3階 327研究室		
担当教員TEL/Tel	鎌田: 095-819-2362 高橋: 095-819-2404 石川: 095-819-2406 宮津: 095-819-2370		
担当教員オフィスアワー/Office hours	鎌田: 月 (10:30 ~ 11:00) 高橋: 木 (10:30 ~ 11:00) 石川: 火 (10:30 ~ 11:00) 宮津: 月 (10:30 ~ 11:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	目まぐるしく変化する「社会」の中で私たちはどのようにその変化に対応し、持続可能な社会をつくる一員として過ごしていかなければならないのでしょうか。「持続可能な社会」では、自然科学や環境、弱者・マイノリティ、乳幼児、持続可能な社会づくりをテーマに、身のまわりからグローバルな範囲までの問題・課題を教育現場(学校や地域社会)の視点から解決し学んでゆきます。		
授業到達目標/Course goals	持続可能な社会に向けて、身のまわりの事例から問題点を発見し、解決に向けた知識・技能を身に付けることができるようになる。 問題解決に向けた行動のありようを多様な視点から分析し、社会や環境、弱者・マイノリティ、乳幼児、持続可能性の観点から考えを持ち表現できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義時に提示課題の評価・レポート(80%) 講義中のディスカッション等の貢献度(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>予習 (2h)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前予告やシラバスから関連するニュース記事を収集し、分析しておくこと。</li> <li>・課題が出る回もあります。講義やLACSの指示に注意してください。</li> </ul> <p>復習 (2h)</p> <p>テキストとレジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。</p>
キーワード/Keywords	持続可能な社会, 環境問題, 食料生産, 行動分析学, 多様性, 共生社会, SDG s
教科書・教材・参考書/Materials	資料は適宜配布するか、LACSに掲載します。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考/Remarks	<p>授業は対面で実施します。</p> <p>状況によって変更する場合があります。その場合はLACS等で連絡します。</p>
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>鎌田 英一郎/教育現場における教員経験/教員経験を活かし、学校現場での授業内容と大学での講義内容の関連性、授業づくり、教材作りへの活かし方等を指導する。</p> <p>高橋甲介/自治体や社会福祉法人の児童発達支援事業の心理指導員として発達につまづきや遅れのある子どもの指導やその保護者に対する相談を行った。</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	環境問題のトレードオフを考える(世界食料デーから考える食と人間) 担当: 鎌田英一郎
第2回	環境問題のトレードオフを考える(バーチャルウォーターから考える食と水) 担当: 鎌田英一郎
第3回	環境問題のトレードオフを考える(世界と日本の食料事情から考える食と生産) 担当: 鎌田英一郎
第4回	環境問題のトレードオフを考える(持続可能な社会に向けて) 担当: 鎌田英一郎
第5回	環境問題と心理学(環境問題と個人の行動) 担当: 高橋甲介
第6回	環境問題と心理学(行動分析学の諸法則) 担当: 高橋甲介
第7回	環境問題と心理学(行動分析学を用いた問題解決のプロセス) 担当: 高橋甲介
第8回	環境問題と心理学(行動分析学を用いた環境問題の改善) 担当: 高橋甲介
第9回	弱者・マイノリティと持続可能な社会 LGBTと私たちの社会 担当: 石川衣紀
第10回	弱者・マイノリティと持続可能な社会 外国人児童と私たちの社会 担当: 石川衣紀
第11回	弱者・マイノリティと持続可能な社会 夜間中学校と私たちの社会 担当: 石川衣紀
第12回	弱者・マイノリティと持続可能な社会 障害者と私たちの社会 担当: 石川衣紀
第13回	乳幼児教育・保育に内包されるESD: 発達初期の環境を考える 担当: 宮津寿美香
第14回	乳幼児教育・保育に内包されるESD: 乳幼児期における自我の芽生えと多様性の理解 担当: 宮津寿美香
第15回	SDGsの視点から考察する 担当: 鎌田英一郎

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587012101	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	【Online】 b5経営情報と会計情報 / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小野 哲 / Ono Tetu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール, 教養モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onotetsu.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (片淵キャンパス) 本館5階532研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	片淵キャンパス常勤のためE-mailにて受け付けます。 なおその際はLACSを使用せず、直接上記アドレスへメールを送信してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ビジネスにおいては、お金の流れや会社の状態を把握することが重要です。そのために不可欠な会計の知識として、この授業ではまず財務3表(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書)の基本的な中身について学びます。つぎに経営指標などの内容を理解したうえで、学生が任意に会社を選択し、財務諸表分析によって選択した会社の経営内容を診断します。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通じて受講者は、以下の目標に到達することが期待されます(カッコ内の数字は「全学モジュールの目標および授業編成の視点との対応関係を示しています」)。 (1) 財務3表の基本的な内容を把握できる(2、5、8、10、B)。 (2) ベーシックな経営指標など会計を用いた技法を理解できる(2、5、8、10、B)。 (3) 実際の企業データを使って、企業のベーシックな財務諸表分析ができる(2、4、5、7、8、10、12、B、D)。 なお「教養モジュール目標および授業編成の視点」については、『教養モジュール科目案内』を参照してください。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト40点(8点×5回)+課題レポート・口頭試問60点=合計100点のうち60点以上を合格とします。なお口頭試問は、ChatGPT対策のため第15回の授業日に対面で実施するもので、作成したレポートの内容について質問するものです。 また小テストやレポートのファイルの送信先は、既述の教員のメールアドレスですが、その際LACSは使用しないでください。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<予習> テキストの該当範囲について事前に読んでおくこと(2h)。 <復習> 授業内容および小テストを含む配付資料をもとに復習すること(2h)。		
キーワード/Keywords	財務3表、経営指標、財務諸表分析(経営分析)		

教科書・教材・参考書/Materials	<p>【教科書】 林 總『会社の数字が面白いほどわかる「財務3表」入門』三笠書房,の「はじめに・プロローグ、第1章、第2章、第3章」を使用。ただし同書が絶版になったため、受講生は第1回目の授業開始前までに教員のメールアドレスへ、件名に所属学部・番号・氏名を明記し、「b5 経営情報と会計情報の教科書」と書いたメールを送信し、教員からの返信メールに添付された該当箇所のファイルを手入するようにしてください。その際LACSは利用しないこと。</p>	
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特にありませんが、会社の経営に興味のある学生向きの内容です。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>	
備考/Remarks	<p>この授業は福岡の実家で一人暮らしを行っている母の介護に従事している関係上、昨年と同様にオンラインデマンドで実施する授業です。</p> <p>なお財務3表は、有価証券報告書等の開示種類に関する電子開示システム(EDINET: <a href="https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/">https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/</a>)で入手することができます。使い方はトップページの「種類検索」をクリックし、次画面の「提出者/発行者/ファンド」の欄に会社名を入力し、「検索」をクリックします。</p> <p>また任意の会社のHPを選択し、「株主のみなさんへ」とか「IR資料室」などのバナーをクリックしても参照することができます。</p>	
学生へのメッセージ/Message for students	<p>実際の会社のデータを用いたレポート作成を課しますから、上記のEDINETや会社のHPを利用してあらかじめ現実の財務3表に触れておくことが望ましいでしょう。</p> <p>なお小テストや課題レポートには提出期限がありますから、その期限を厳守するようにしてください。</p>	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course		
授業計画詳細/Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents	授業手法/
1回(4/8)	授業ガイダンス(オンラインデマンド)	A
2回(4/8)	会計の基本ー売上高、費用、利益、現金の流れの学習ー(オンラインデマンド)	A
3-4回(4/15)	財務3表ー損益計算書入門ー(オンラインデマンド) 第1回小テスト(オンラインデマンド)	A C
5-6回(4/22)	財務3表ー貸借対照表入門ー(オンラインデマンド) 第2回小テスト(オンラインデマンド)	A C
7-8回(5/13)	財務3表ー貸借対照表入門、キャッシュ・フロー計算書入門ー(オンラインデマンド) 第3回小テスト(オンラインデマンド)	A C
9-10回(5/20)	会計不正ー利益操作についてー(オンラインデマンド) 経営指標についての学習ー総資産利益率、自己資本利益率ー(オンラインデマンド)	A
11-12回(5/27)	経営指標についての学習ー自己資本比率、流動比率、当座比率、固定比率、固定長期適合率、売上高増加率ー(オンラインデマンド) 第4回小テスト(オンラインデマンド)	A C
13-14回(6/3)	ヤマダ電機の分析例、課題レポートの説明(オンラインデマンド) 第5回小テスト(オンラインデマンド) *課題レポートの提出受付開始	A C D
15回(6/10)	*課題レポートの提出受付終了 口頭試問(対面)	D

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593002301	科目番号 / Course code	05930023
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b5ゲーム理論入門 / Introduction to Game Theory		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori, 小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yoshizawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 510号室.		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日14:00~15:00.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	経済学のみならず、経営学、政治学、社会学、法学といった社会科学全般や心理学、哲学、倫理学といった人文科学、生物学、物理学、計算機科学、工学といった自然科学でも研究され応用されているゲーム理論の基本的な考え方を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけられる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	問題演習(60%), 定期試験(40%)で評価する。なお、定期試験を未受験の場合は成績評価を「欠席」とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】テキスト・参考書の関連箇所を読み、分からない箇所を明確にしておくこと。(4h) 【復習】テキスト・参考書と講義資料・ノートを再読し、理解を確実にするよう努め、講義中に扱う演習問題について復習すること。(4h)		
キーワード/Keywords	非協力ゲーム理論, 完備情報のゲーム, 戦略形ゲーム, 展開形ゲーム。		
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】 渡辺 隆裕 (2008) 『ゼミナール ゲーム理論入門』日本経済新聞出版社。 を予定しているが、 渡辺 隆裕 (2021) 『一歩ずつ学ぶ ゲーム理論 - 数理で導く戦略的意思決定 - 』裳華房。 に変更する可能性もある。授業開始までに通知する。  【参考書】 ・梶井 厚志, 松井 彰彦 (2000) 『ミクロ経済学 戦略的アプローチ』日本評論社。 ・岡田 章 (2014) 『ゲーム理論・入門 新版 人間社会の理解のために』有斐閣。 ・岡田 章 (2021) 『ゲーム理論 第3版』有斐閣。 ・岡田 章, 他 (2015) 『ゲーム理論ワークブック』有斐閣。 ・船木 由喜彦 (2004) 『演習 ゲーム理論』(演習新経済学ライブラリ; 4) 新世社。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則、対面で行うことを予定しているが、状況によって変更することもある。その場合はeメールまたはLACSで通知する。
学生へのメッセージ/Message for students	試験で良い成績を収めたいのであれば、 ・岡田 章 (2021) 『ゲーム理論 第3版』 有斐閣。 ・岡田 章, 他 (2015) 『ゲーム理論ワークブック』 有斐閣。 ・船木 由喜彦 (2004) 『演習 ゲーム理論』(演習新経済学ライブラリ; 4) 新世社。 といった上級のテキストでの学習及び問題集での演習を勧める。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、導入(対面)。
第2回	戦略形ゲームの基礎#1(対面)。
第3回	戦略形ゲームの基礎#2(対面)。
第4回	完全情報の展開形ゲーム#1(対面)。
第5回	完全情報の展開形ゲーム#2(対面)。
第6回	問題演習#1(対面)。
第7回	戦略形ゲームの応用#1(対面)。
第8回	戦略形ゲームの応用#2(対面)。
第9回	戦略形ゲームの応用#3(対面)。
第10回	戦略形ゲームの応用#4(対面)。
第11回	問題演習#2(対面)。
第12回	一般の展開形ゲーム#1(対面)。
第13回	一般の展開形ゲーム#2(対面)。
第14回	一般の展開形ゲーム#3(対面)。
第15回	問題演習#3(対面)。
第16回	定期試験(対面)。

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587010501	科目番号 / Course code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12711_005		
授業科目名 / Course title	b6国際社会と日本経済 / International Societies and Japanese Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeta373mori nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) ただし、メールでの問い合わせの回答は遅れる可能性があるためLACSのメッセージ機能をご利用く ださい。		
担当教員研究室/Office	経済学部本館625号室		
担当教員TEL/Tel	shigeta373mori nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) ただし、メールでの問い合わせの回答は遅れる可能性があるためLACSのメッセージ機能をご利用く ださい。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜 : 12 : 00 ~ 13 : 00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	15世紀後半から19世紀半ばまでを対象期間として、日本が国際社会の中でどのように位置にあっ たのかを解説する。		
授業到達目標/Course goals	(1) 各時代の経済人の考え方について説明できる。 (2) 過去の人びとが国際社会についてどのように考えていたのか、そのなかで日本をどのように位 置づけていたのかを説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平常課題(4回 : 40%) 長崎歴史文化博物館の常設展を見学し、感想をまとめる。 長崎大学附属図書館経済学部分館の長崎学資料室を見学し、感想をまとめる。 参考文献から1冊を選び、その内容を要約する。 指定された3つの史跡に自ら趣き、説明板や石碑などを写真を撮影する。 期末レポート(1回 : 60%)  なお、すべての課題を提出しなければ単位を修得することはできません。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習 : LACSにアップしたレジュメに目を通して講義にのぞむこと。(2h) 事後学習 : レジュメや講義内容をまとめ、理解を確実にすること。(2h)		
キーワード/Keywords	国際社会、国家、「鎖国」		

<p>教科書・教材・参考書/Materials</p>	<p>教科書：なし  教材  LACSにアップします。  参考文献  赤瀬浩『「株式会社」長崎出島』講談社,2005年。  安藤雄一郎『江戸のエリート経済官僚 大岡越前の構造改革』NHK出版,2007年。  井原西鶴作；東明雅校訂『日本永代蔵』岩波書店,1956年。  宇田川久武『真説 鉄砲伝来』平凡社,2006年。  小川末『和算:江戸の数学文化』中央公論新社,2021年。  柏原宏紀『明治の技術官僚：近代日本をつくった長州五傑』中央公論新社,2018。  嘉数次人『天文学者たちの江戸時代：暦・宇宙観の大転換』筑摩書房,2016年。  北原進『江戸の札差』吉川弘文館,1985年。  木村直樹『通説 たちの幕末維新』吉川弘文館,2012年。  木村直樹『長崎奉行の歴史 苦悩する官僚エリート』角川出版,2016年。  鬼頭宏『図説人口で見る日本史：縄文時代から近未来社会まで』PHP研究所,2007年。  黒田基樹『百姓から見た戦国大名』筑摩書房,2006年。  小泉信三『福澤諭吉』岩波書店,1966。  桜井英治,中西聡編『流通経済史』山川出版社,2002年。  佐々木銀弥『中世商品流通史の研究』法政大学出版局,1972年。  鈴木公雄『銭の考古学』吉川弘文館,2002年。  杉山伸也『明治維新とイギリス商人：トマス・グラバーの生涯』岩波書店,1993。  鈴木浩三『江戸の都市力:地形と経済で読みとく』筑摩書房,2016年。  高木久史『撰銭とビター文の戦国史：中世から近世へ』平凡社,2018年。  高木久史『通貨の日本史 - 無文銀銭、富本銭から電子マネーまで』中央公論新社,2016年。  高橋章則『江戸の転勤族：代官所手代の世界』平凡社,1997年。  田代和生『書き替えられた国書 徳川・朝鮮外交の舞台裏』中央公論社,1983年。  田代和生『倭館 鎖国時代の日本人町』文藝春秋,2002年。  中田易直『三井高利』吉川弘文館,1959年。  西沢淳男『代官の日常生活：江戸の中間管理』講談社,2004年。  速水融『歴史人口学で見た日本』文藝春秋,2001年。  速水融,鬼頭宏,友部謙一編『歴史人口学のフロンティア』東洋経済新報社,2001年。  原田伴彦『長崎 歴史の旅への招待』中央公論社,1964年。  尾藤正英『江戸時代とはなにか：日本史上の近世と近代』岩波書店,2006年。  福澤諭吉著,齋藤孝訳『学問のすすめ：現代語訳』筑摩書房,2009。  福澤諭吉著,伊藤正雄訳『現代語訳学問のすすめ』岩波書店,2013。  福澤諭吉『学問のすすめ。改版』岩波書店,1978。  藤木久志『戦国の村を行く』朝日新聞社,1997年。  藤木久志『飢餓と戦争の戦国を行く』朝日新聞社,2001年。  ブライアン・パークガフニ著,山内素子訳『霧笛の長崎居留地：ウォーカー兄弟と海運日本の黎明』長崎新聞社,2006。  ブライアン・パークガフニ『T・B・グラバー』長崎文献社,2020。  増崎英明・長崎大学地域文化研究会『今と昔の長崎に遊ぶ』九州大学出版会,2021年。  水本邦彦『村：百姓たちの近世』岩波書店,2015年。  南森茂太『「民」を重んじた思想家 神田孝平 異色の官僚が構想した、もう一つの明治日本』九州大学出版会,2022年。  源了圓『徳川思想小史』中央公論社,1973年。  宮田純『近世日本の開発経済論と国際化構想：本多利明の経済政策思想』御茶の水書房,2016年。  宮本又次『鴻池善右衛門』吉川弘文館,1958年。  村井淳志『勘定奉行萩原重秀の生涯 新井白石が嫉妬した天才経済官僚』集英社,2007年。  村上直『江戸幕府の代官群像』同成社,1997年。  若尾政希『百姓一揆』岩波書店,2018年。  渡辺尚志『百姓の力：江戸時代から見える日本』柏書房,2008年。</p>
<p>受講要件 (履修条件) /Prerequisites</p>	<p>歴史が大好きな人大歓迎です。</p>
<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。  アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先  (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948  (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考/Remarks</p>	<p>授業の実施方法(対面)</p>
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>よりよき学びの環境作りを受講生一人ひとりが作り出すようにしてください。</p>
<p>実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience</p>	<p>N</p>

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前史：古代から中世にかけての国際社会の中での日本の位置づけを概観する。
第2回	日本を取り巻く環境：16世紀後半から17世紀にかけての日本を取り巻く国際情勢について解説する。
第3回	西洋との出会い：16世紀半ばの西洋社会との出会いについて解説する。
第4回	南蛮貿易の展開：16世紀後半の南蛮貿易について解説する。
第5回	朱印船貿易：朱印船貿易制度の創設と展開を解説する。
第6回	長崎貿易：貨物市法について解説する。
第7回	長崎貿易：会所貿易について解説する。
第8回	長崎貿易：正徳新例とその影響について解説する。
第9回	貿易と国内経済：貿易が幕府の貨幣政策に及ぼした影響を解説する。
第10回	貿易と国内経済：貿易が各地の産業に及ぼした影響を解説する。
第11回	日本を取り巻く環境：18世紀から19世紀半ばにかけての日本を取り巻く国際情勢について解説する。
第12回	欧米諸国の接近：19世紀前半に欧米諸国の船舶がなぜ日本近海に出没したかを解説する。
第13回	開国と開港：開国と開港が日本に及ぼした影響を解説する。
第14回	居留地：居留地が日本に及ぼした影響を解説する。
第15回	全体のまとめ

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593002501	科目番号 / Course code	05930025
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b6企業経営の仕組み / Business Management System		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辺見 英貴 / hemmi hidetaka, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	辺見 英貴 / hemmi hidetaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	辺見 英貴 / hemmi hidetaka		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hidetaka.hemmi nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は @を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階608研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6341		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後、もしくは事前にメールで連絡いただければ、時間調整します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>企業経営の仕組みでは、企業の形態や機能、企業を取りまく環境との関わりについて学習する。企業とは、リスクを負いながらも利益を確保することを目指す組織である。本講義ではまず、企業の目的(アウトプット)を明らかにし、目的を達成するために必要な資金調達(インプット)の構造を講義する(第2・3回)。さらに、企業の目的を達成するための商品の売り方に注目していく(第4回)。</p> <p>次に、企業形態の理解を深めるための講義を行う。まず、環境による影響を受けて変化する組織構造の種類を講義する(第4・5回)。一方で、ハードとしての組織構造のみならず、ソフトの視点から組織を捉える組織文化について講義する(第6回)。</p> <p>次に、企業は様々な切り口で種類が分けられる。本講義では典型的な日本の経営の構造と、中小企業やベンチャー企業、ファミリービジネスの構造や実態について講義していく(第7・8・9回)。</p> <p>続いて、職場における従業員のマネジメントに着目する。まず、人のマネジメントについて扱う経営管理論の潮流を概観する。次に、経営管理論の1つの分野であるモチベーション論やグループ・ダイナミクス、職場のコミュニケーションについて論じていく(第10~13回)。</p> <p>最後に、企業と社会の関係性について論じる。すなわち、企業が社会にとって、どうあるべきかという社会的位置づけについて責任の概念に基づいて講義する(第14回)。</p> <p>全体の振り返りおよび定期試験のアナウンスは第15回に行う。</p>		
授業到達目標/Course goals	1. 企業の形態や機能について説明ができる。( ) 2. 企業を取りまく環境との関わりについて理解する。( )		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習復習課題(30点) + 期末テスト(70点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習・復習課題に取り組むこと。(2h) 復習はレジュメおよび授業で提示された参考書をもとに理解の確認をすること。(2h) また、時事的な問題に日頃から関心を持つことで、企業に対するさらなる理解が深まります。		

キーワード/Keywords	企業の目的と機能、企業の組織構造、企業組織の種類、コーポレート・ガバナンス、組織行動
教科書・教材・参考書/Materials	参考書 三戸浩・池内秀己・勝部伸夫 (2018) 『企業論：第4版』有斐閣アルマ。 吉村典久・田中一弘・伊藤博之・稲葉祐之 (2017). 『企業統治』中央経済社。 その他にも、関連する書籍や文献を適宜紹介します。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	企業組織内外のマネジメントについて関心を持つ学生が望ましい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本講義は対面で実施予定です。
学生へのメッセージ/Message for students	企業経営の仕組みを学ぶことは、企業や社会に関する枠組みや構造の理解につながります。また、所属している組織やチームで応用することを念頭に置きながら受講することを推奨します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	企業とは何か? 企業の定義と現代の役割 【問い】「企業経営の仕組み」では何を学習するのか、企業とはどのようなものなのか。 【目的】企業や社会の基本的な構造を理解できることと、これから企業論で学ぶ概要を把握すること。 【概要】本授業では授業の進め方の説明および参考書籍の説明をする。企業とは、リスクを負いながらも利益を確保することを目指す組織である。経営学とは、人の行為の学問であり、マネジメントとは他者の行為を促すことである。言い換えると、経営学とは経営資源をどのように動かしていくのかを明らかにすることで、利益の確保を目指す。加えて、現代企業は社会的な組織であり、企業を取り巻く他のステークホルダーからの影響を考慮する必要がある。ゆえに、本科目を通して、顧客の視点のみならず、企業の視点で経営活動を捉えていくことの重要性を強調する。
第2回	企業の経営と統治 企業による価値の創造 【問い】企業はどのような活動をしながらかの目的を達成するのか。 【目的】企業内外における企業の活動プロセスと経営活動の目的について理解する。 【概要】企業は消費者に対して何らかの価値を提供することが求められる。付加価値を生み出すためのプロセスとして、マイケル・ポーターのバリューチェーンをもとに議論する。バリューチェーンを用いることで、企業は効率の向上と差別化に向けた活動が可能となる。
第3回	企業の経営と統治 資金調達 【問い】企業はどのように資金調達をするのか。企業は資金調達のために、どのような工夫をしているのか。 【目的】カネの動かし方について理解する。 【概要】企業は資金を集めてはじめて価値のあるものを生み出すことができる。つまり、企業は他の組織(主体)からカネを動かす必要がある。カネは血液の役割があり動かし続けることで機能する。本講義ではカネの動かし方について論じる。従来の資金調達方法を講義したのちに、ベンチャー企業を中心とした資金調達方法として、ベンチャーキャピタルやクラウドファンディングを扱う。
第4回	財・サービスを生産する企業 大企業の長期戦略 【問い】企業は長期間に渡って売れる商品どのように生み出しているのか。 【目的】企業の製品戦略と海外市場への進出の種類について理解する。 【概要】企業が生み出す商品のなかにはロングセラーの商品がある。一方で、企業から新しい商品が次々に誕生したり、商品が市場からなくなったりすることが頻りに繰り返されている。このように、商品は生き物のように生まれ、寿命を迎える。企業は消費者に商品を買ってもらうために戦略を立てる。本講義では3つの製品戦略のパターンを紹介する。より長く商品売の方法の1つは海外市場への進出がある。企業は、海外に製品を輸出したり、現地で生産をしたりする。

第5回	<p>企業のデザイン 企業組織の構造</p> <p>【問い】大企業は環境適応のためにどのような組織形態を選択しているのか。</p> <p>【目的】大企業の組織的特徴を述べたのちに、環境適応のために企業はどのような組織構造を選択しているのかを学ぶ。</p> <p>【概要】企業は環境からの影響を受けてあらゆる組織構造に変化する。最たる例は、企業が大きくなったことで生まれた官僚制である。その他にも、企業組織の形態には、ライン・アンド・スタッフ組織、事業部制組織、マトリックス組織などがあり、それぞれに良し悪しがある。加えて、現在では大きな組織を対象とするだけでなく、チーム組織やプロジェクト組織のような少人数の組織にも注目が集まっている。</p>
第6回	<p>企業のデザイン 企業組織の文化</p> <p>【問い】組織文化によって、従業員の行動はどのように変わるのか。</p> <p>【目的】従業員が組織文化から受ける影響や組織文化の捉え方を理解する。</p> <p>【概要】企業は組織構造のようなハードの側面だけでなく、ソフトの側面からも理解できる。組織文化は、組織構造とは異なり、目に見えづらい性質があるが、読み取る手がかりはある。また、見えづらい性質があるにもかかわらず、組織のメンバーは少なからず組織文化からの影響を受ける。加えて、組織文化がつけられやすい要素や、文化が変わるプロセスについて議論する。本授業を通して、企業組織をハードとソフトの両面からみること、組織の枠組みについて広く理解していく。</p>
第7回	<p>日本企業の特徴</p> <p>【問い】日本企業の独自性とはどのようなものか。</p> <p>【目的】日本的経営の実態と課題を理解する。</p> <p>【概要】日本企業には欧米企業とは異なる特有の特徴がある。一般的に言われている日本経営は、終身雇用や年功制の人事システムや集団的な意思決定システムである。しかし、本授業ではこれらの「一般論」とは一線を画し、柔軟な雇用調整をする日本企業の人事制度について深掘りする。具体的には、日本企業における賃金体系や人材育成、多様な就業形態、労働組合について、欧米の慣行と対比しながら議論する。加えて、2017年以降の働き方改革に伴う日本企業の制度変化についても議論していく。</p>
第8回	<p>企業の形態 中小企業・ベンチャー企業</p> <p>【問い】中小企業の強みと弱みとはどのようなものか。</p> <p>【目的】大企業と中小企業・ベンチャー企業の違いを理解する。</p> <p>【概要】日本の中小企業数は、全企業の99%以上の割合を占める。ゆえに、本授業では中小企業の特徴についての理解を深めていく。その1つに、中小企業は業務の専門化をする一方で、専門外のことは外部に依存する特徴を持つ。また、中小企業は常に大企業を含めた市場競争を強いられる。そこで、中小企業がどのように市場で競争をするのかについて講義する。</p>
第9回	<p>企業の形態 ファミリービジネスの特色</p> <p>【問い】ファミリービジネスとはどのような企業形態か。</p> <p>【目的】ファミリービジネスの良さや課題を理解すること。</p> <p>【概要】日本には家族経営の企業が数多く存在する。ファミリービジネスは優れているのかという問いを紐解く上で鍵となる社会的情緒資産に着目して講義する。ファミリービジネスが成功する要因は4つのCがあるが、一方で特有の課題も抱える可能性がある。ファミリービジネスの課題を抽出するために、スリーサークルモデルについて説明する。例えば、このモデルでは、ファミリービジネスの大きな課題である後継者不足について示されている。</p>
第10回	<p>従業員のマネジメント 管理論の潮流</p> <p>【問い】組織の人の行為をどのように促すのか。</p> <p>【目的】企業組織の維持・存続のために、管理論の展開を理解する。</p> <p>【概要】経営管理論は100年以上の潮流があり、大きな流れを掴むことで企業組織のあり方の理解につながる。具体的には、テイラーシステムから始まり、時間管理などの計画管理を提唱した。その後、ホーソン実験や、バーナードの組織論によって、組織と人の関係性が議論された。次に、コンティンジェンシー理論や知識創造論など経営管理論の主要理論について講義する。</p>
第11回	<p>従業員のマネジメント モチベーション論</p> <p>【問い】企業に勤めている人はなぜ一生懸命働くのか。</p> <p>【目的】人が働く理由を、内容とプロセスから理解する。</p> <p>【概要】企業では従業員が離職せずに働き続けてもらうことが大きな課題となる。モチベーション論は、モチベーションを高める要因を論じる内容理論と、どのようにモチベーションを高めるのかを問うプロセス理論に大きく二分される。内容理論は、例えばマズローの欲求階層説のような古典的な分類がある。プロセス理論は、期待理論が挙げられる。その後のモチベーション論の研究は、内発的動機づけへの注目が高まり、職務特性モデルのような実践的なフレームワークが提唱された。</p>

第12回	<p>従業員のマネジメント グループ・ダイナミクス</p> <p>【問い】チームワークは個人ワークと何が異なるのか。</p> <p>【目的】集団的意思決定の仕組みや、集団への影響について理解する。</p> <p>【概要】企業組織では、個人の意思決定のみならずチームとして意思決定する場面がある。チームの意思決定は他者の満足も考慮する必要がある点において、困難さを伴う。本授業では、集団での意思決定やメンバーの行動の特徴にはどのようなものがあるのかについて講義する。具体的には、集団浅慮や社会的手抜きといった職場で生じる集団的現象について論じていく。</p>
第13回	<p>従業員のマネジメント 職場のコミュニケーション</p> <p>【問い】職場で円滑なコミュニケーションをするにはどうすればいいのか。</p> <p>【目的】職場におけるメンバーとの関わりあいについて理解する。</p> <p>【概要】企業組織の職場において、メンバー間の関係は組織全体の生産性や職務満足度に大きな影響を及ぼす。本授業では、職場で円滑なコミュニケーションをするためにいくつかの研究を紹介する。まず、主に社会心理学で論じられる信頼研究について把握していく。次に、リーダーシップ論からリーダーによるメンバーへの関わりあいについて理解する。また、メンバーが黙ってしまう問題とそのメカニズムについて概観した後に、メンバーとの対話のあり方について論じる。</p>
第14回	<p>企業の社会的位置づけ 企業の社会的責任と企業倫理</p> <p>【問い】企業は利益追求のみが第一の目的なのか。</p> <p>【目的】責任の種類から現代企業の役割について理解する。</p> <p>【概要】企業は利益の追求だけでなく、社会に対しての責任を負っている。本授業では、企業が果たす責任の種類を概観し、企業と社会との関係性について講義をする。企業が実際にどのような責任を果たしてきたのか、その具体的な活動を紹介しながら論じる。また、大企業を中心に行われているCSR活動にどのような意義があるのかについて、論じていく。本授業では本業責任の重要性について強調する。</p>
第15回	<p>ラップアップ</p> <p>本授業では、企業経営の仕組みで学習した内容について振り返る。期末テストについての説明も行う。</p>

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593005302	科目番号 / Course code	05930053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b7Toward a Nuclear Weapon-Free World / Toward a Nuclear Weapon-Free World		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakamurak@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	2nd floor, Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University (RECNA)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー/Office hours	by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	This course is designed to introduce participants to the challenges in facing a world affected by the existence of approximately 13,000 nuclear weapons, and the proliferation of their related materials and technology.		
授業到達目標/Course goals	Overall, this course will not only facilitate students to gain a greater understanding of the various issues related to nuclear weapons, but also help students construct their own ideas and opinions for a better future, and build confidence to express and share these ideas with their peers.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	1) Class attendance, preparation, and participation in discussion (60%) 2) Final report (40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	Before class, students are expected to read related news articles and materials suggested by the lecturer. (2h) After class, students are expected to read over the returned reaction sheets and do further research on their own on the parts of the lecture that they did not fully		
キーワード / Keywords	nuclear weapons, nuclear disarmament, nuclear non-proliferation, nuclear energy, peace and disarmament education		
教科書・教材・参考書 / Materials	Not required (printed materials may be distributed in class)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	This class will be conducted face-to-face.
学生へのメッセージ/Message for students	The working language in the classroom is English and at least a moderate English proficiency is required.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中村 桂子/核兵器廃絶研究分野、特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長の実務経験を有する/特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長として、核軍縮・不拡散問題に取り組んでいた実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識を、英語で教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction to the Course
第2回	Basic Introduction of Nuclear Weapons I: Beginning of Nuclear Age
第3回	Basic Introduction of Nuclear Weapons II: Current status of nuclear world
第4回	Nuclear testing I
第5回	Nuclear testing II
第6回	The Cold War Era and Nuclear Arms Race
第7回	Beyond the Cold War: Risk of Proliferation
第8回	Nuclear Weapons from Regional Perspectives
第9回	Peaceful Use of Nuclear Energy and Nuclear Non-proliferation
第10回	Japanese Nuclear Policy
第11回	Nuclear Weapon-Free Zones
第12回	States that Chose a Non-Nuclear Policy
第13回	Role of Civil Society I
第14回	Role of Civil Society II
第15回	Conclusion

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593005501	科目番号 / Course code	05930055
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b7Introduction to Japanese Culture and History / Introduction to Japanese Culture and History		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru, 中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	授業中の説明は英語のみとなりますので、シラバスも英語のみとなります。自分の英語能力が十分かどうか不安な方は、山下先生に直接メールでご相談ください。 The explanation in class will be given in English only, therefore the syllabus will also only be given in English. If you are not sure if your English language ability is sufficient, please contact prof. Yamashita directly by e-mail.		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp( @)		
担当教員研究室/Office	Center for Language Research B-112 genko-kyo iku-kenkyu-senta 言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Before and after the lecture On appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	This lecture will give an introduction to the most important historical and cultural developments in Japanese history until the end of the Meiji-period.		
授業到達目標/Course goals	This lecture aims at lecturing Japanese students in English on Japanese culture and history. Students will become able to explain the culture and history of their home country in English when they travel abroad, and because of a better or renewed understanding of their cultural heritage they will also obtain the intellectual knowledge necessary to study and discuss foreign cultures. This class is also open to foreign exchange students who will have a change to study the culture and history of their host country in another language than Japanese.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Homework assignments 20%, presentations (if possible, depending on the number of students) 10%, final test and/or paper 70% (80% if there are too many students to do		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Homework assignments will be given in the lecture to review the content of that lecture. The assignment will have to be written in English. (approx. 1-2 hours) Approx. 2hour of preparation (reviewing lecture notes, handouts for next lecture)		

キーワード/Keywords	Japanese history, Cultural anthropology, English, History, Culture
教科書・教材・参考書/Materials	Handouts will be given when necessary.
受講要件（履修条件）/Prerequisites	Full attendance is required
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	This class will be conducted face-to-face. Depending on the number of participating students, it may not be possible to do groupwork or to do presentations. Consequently, the content of the lecture schedule is subject to change, but all above named subjects will be discussed.
学生へのメッセージ/Message for students	Study the old, understand the new! 温故知新
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
in person (not online)	Introduction Prehistoric and Ancient Japan Paleolithic period J mon period Yayoi period
in person (not online)	Prehistoric and Ancient Japan Yayoi period Kofun period (c. 250–538)
in person (not online)	Classical Japan Asuka period (538–710) Nara period (710–794)
in person (not online)	Classical Japan Nara period (710–794) Heian period (794–1185)
in person (not online)	Classical Japan Heian period (794–1185) Feudal Japan Kamakura period (1185–1333)
in person (not online)	Feudal Japan Kamakura period (1185–1333) Muromachi period (1333–1568)
in person (not online)	Presentations by students
in person (not online)	Feudal Japan Azuchi–Momoyama period (1568–1600) Oda Nobunaga
in person (not online)	Feudal Japan Azuchi–Momoyama period (1568–1600) Toyotomi Hideyoshi
in person (not online)	Feudal Japan Tokugawa Ieyasu and the Beginning of the Edo period (1600–1868) The Feudal system of the Edo period
in person (not online)	Early modern Japan Edo period (1600–1868) Foreign Exchange
in person (not online)	Presentations by students
in person (not online)	Presentations by students
in person (not online)	Early modern Japan Edo period (1600–1868) Religion, Culture The Collapse of the Tokugawa Shogunate
in person (not online)	Modern Japan Meiji period (1868–1912) Taish period (1912–1926)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593002701	科目番号 / Course code	05930027
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b8「視覚の科学」を学ぶ / Science of Vision		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大石 明生, 上松 聖典 / Uematu Masafumi, 草野 真央 / Kusano Mao, 原田 史織, 井上 大輔, 宮城 清弦, 町田 祥, 熊井 良彦		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大石 明生		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大石 明生, 上松 聖典 / Uematu Masafumi, 草野 真央 / Kusano Mao, 原田 史織, 井上 大輔, 宮城 清弦, 町田 祥		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akio.oishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合研究科眼科・視覚科学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7345		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 17:00 ~ 19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	カンブリア紀に眼を持つ生物が爆発的に増え、多様性を持ってきた。本授業では生物の視覚器の発生からはじまり高度に発達した眼までの構造と機能をみていく。また視覚を脅かす病気やケガ、そしてそのために生じる障がいについて概説する。さらに障害で生じたハンディキャップを補う方法を自ら考えてもらう。また標準的な色覚とそのバリエーションについて理解し、ロービジョンケアの初歩を実践する。さらにアイバンク、盲学校についても学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	ヒトを含む生体は生きていく上で、様々な刺激を受けとりそれに対して反応する。古代アリストテレスはヒトが外界を感知する感覚機能を5つに分類した。すなわち視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の五感である。現在ではヒトの感覚はもっとあり、細かく分類すると20以上あると考えられているが、その中で視覚は外界からの刺激の80%以上を伝える器官として最も重要である。視覚器の発生・進歩を知り、それがどのような障がいを受ける危険性があるか、また障がいを受けた場合にどのようなハンディキャップを生じるかを考えていく。障がいから回復するような治療が行われ成果をあげているが、一方で、障がいが残る場合も多い。人間の叡智はハンディキャップを様々な方法で乗り越えてきたが、その過程・方法を一緒に考えていきたい。そして最終的に、視覚を司る眼の構造の概略を説明できる、代表的な眼の病気について理解している、色覚の発生が説明でき、色覚のダイバーシティについて理解できる、ロービジョンケアの初歩を実践できる、といったことを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席(40%) レポート(40%) 授業への取り組み(5%) 課題プレゼンテーション(15%) により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	初回は目が見えなくなったらどんな事に困るか考えてくること。2回目以降は次回の課題を提示するので予習してくること(2時間) その後講義では次回講義での発表者を指名するので、与えられたテーマについてまとめてくること。発表者以外も講義内容の復習や関連する情報の検索、次回の予習をして理解を深めること。(2時間)
キーワード/Keywords	視覚、アイバンク、ロービジョンケア、色覚
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はない。講義資料をLACSにあげる。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面授業を行います。状況によって変更することがあります。
学生へのメッセージ/Message for students	外界の情報のほとんどを得る手段である視覚の重要性について学び、視覚、色覚等の多様性を理解してほしい。またロービジョンのヒトに対するケアに積極的に関わってほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	大石 明生、上松 聖典、草野真央、井上大輔、原田史織、宮城清弦、町田祥 / 眼科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、生物の視覚器の発生からはじまり高度に発達した眼までの構造と機能に関する基本的知識を学び、色覚の発生が説明でき、色覚のダイバーシティについて理解できる、ロービジョンケアの初歩を実践できるところまでを目標に授業を行う。/ 築城 英子/眼科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、障害で生じたハンディキャップを補う方法を自ら考えて、標準的な色覚とそのバリエーションについて理解し、ロービジョンケアの初歩を実践するための基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 大石 明生/眼科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、障害で生じたハンディキャップを補う方法を自ら考えて、標準的な色覚とそのバリエーションについて理解し、ロービジョンケアの初歩を実践するための基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	眼のしくみ ヒトの眼の構造を例として視覚情報を取り込む器官を概説し、その仕組みを考える。(対面・大石)
第2回	眼のはたらき ヒトの眼がいかにかに視覚情報を伝達して構築するかを考える。(対面・大石)
第3回	眼の進化 1 単純な眼から複雑な構造・機能を持った眼への進化を考える。(対面・井上)
第4回	眼の進化 2 様々な動物の眼のしくみを比較しながら特性を考える。(対面・井上)
第5回	眼の透明組織 眼には体の他の部位にはみられない透明組織が多く存在する。その理由と透明性を保つしくみを考える。(オンライン・草野)
第6回	近視、遠視、乱視 眼の屈折の特性について考え、さらに近視が増加している現状についても考える。(オンライン・草野)
第7回	角膜 角膜の生理、病態について考える。(対面・上松)
第8回	アイバンク 角膜移植を斡旋する公的機関であるアイバンクについて概説し、臓器提供についても考える。(対面・上松)
第9回	水晶体 角膜と同じく透明組織である水晶体について、その生理、病態を考える。(オンライン・宮城)
第10回	眼内レンズ 水晶体を摘出した際に、代わりに人工のレンズを挿入する。これについて考える。(オンライン・宮城)
第11回	全身疾患と眼 1 糖尿病や高血圧が眼に及ぼす影響を考える。(対面・町田)

第12回	<p>全身疾患と眼2          眼に影響を及ぼすその他の疾患について考える。(対面・町田)</p>
第13回	<p>子供の視力の発達と盲学校          小児期の視力の特徴と盲学校について考える。色覚とその異常          ヒトの視覚は3色覚で構成されているが、実はその感じ方には個人差がある。色を感じる原理とその異常について考える。(対面・原田)</p>
第14回	<p>ロービジョンケア          視力不良の患者さんのケアを考える。(対面・原田)</p>
第15回	<p>色覚とその異常          ヒトの視覚は3色覚で構成されているが、実はその感じ方には個人差がある。色を感じる原理とその異常について考える。(対面・大石)</p>

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593002901	科目番号 / Course code	05930029
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b8重要な耳鼻咽喉科学(聴覚・嗅覚・味覚)を学ぶ / Disorders and Recovery of the Sense and Function in Otolaryngology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	熊井 良彦, 木原 千春 / Kihara Chiharu, 佐藤 智生, 西 秀昭, 大野 純希		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	熊井 良彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	熊井 良彦, 木原 千春 / Kihara Chiharu, 佐藤 智生, 西 秀昭		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部保健学科、歯学部、情報データ科学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junki-o nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際には を@に置き換えて送信して下さい)		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院本館11階 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野担当		
担当教員TEL/Tel	095-819-7349		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月から金曜日 10時から17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>ヒトを含む生体は生きていく上で、様々な刺激を受けとりそれに対して反応する。古代アリストテレスはヒトが外界を感知する感覚機能を5つに分類した。すなわち視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の五感である。現在ではヒトの感覚はもっとあり、細かく分類すると20以上あると考えられているが、これらの五感はコミュニケーションにとって非常に重要であり、ヒトの生活の質(QOL)を決める重要な要素である。</p> <p>本テーマでは五感の仕組みや疾患との関連性、どのような障がいを受ける危険性があるか、また障がいを受けた場合どのようなハンディキャップを生じるかを考えていく。障がいから回復するような治療が行われ成果をあげているが、一方で、障がいが残る場合も多い。人間の叡智はハンディキャップを様々な方法で乗り越えてきたが、その過程・方法を一緒に考えていきたい。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1. 感覚器や機能の障がいをもつということ、個の多様性、またそのような障がいをもつ人が社会で生活を送るうえでの問題点を理解できる。</p> <p>2. 感覚器や機能の障がいをもつ人に接する際に、望ましい配慮・行動ができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題(70点) + 授業への取り組み(30点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	高等学校生物 Bおよび生物 で使用した図譜などを用い、感覚器、とくに聴覚・嗅覚・味覚・触覚についての概要を把握して授業に臨むことが望ましい。(4時間)		
キーワード/Keywords	聴覚、嗅覚、味覚、平衡覚、摂食、嚥下、音声、言語、頭頸部癌		
教科書・教材・参考書/Materials	新耳鼻咽喉科学 南山堂		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面実施（オンラインで行う授業の回は別途LACSで連絡する）
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	熊井 良彦/長崎大学病院における診療業務/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/ 西秀昭/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/ 木原千春/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/ 佐藤智生/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 (6月17日)	総論 : 画像診断、良性疾患 (対面) : 担当 木原千春
2 (6月17日)	総論 : 鼻・副鼻腔疾患 (対面) : 担当 木原千春
3 (6月24日)	総論 : 耳の解剖・生理、聴力検査 (オンライン) : 担当 熊井良彦
4 (6月24日)	総論 : 音声・気管・食道疾患 (オンライン) : 担当 熊井良彦
5 (7月1日)	総論 : 耳疾患(外耳・中耳) (対面) : 担当 佐藤智生
6 (7月1日)	総論 : 耳疾患(内耳) (対面) : 担当 佐藤智生
7 (7月8日)	各論 : 嚥下(生理と障害) (オンライン) : 担当 熊井良彦
8 (7月8日)	各論 : 嚥下(リハビリと手術) (オンライン) : 担当 熊井良彦
9 (7月16日)	各論 : 頭頸部疾患 (オンライン) : 担当 西秀昭
10 (7月16日)	各論 : 頭頸部癌各論 (オンライン) : 担当 西秀昭
11 (7月22日)	各論 : 側頭骨・頭蓋底疾患 (対面) : 担当 佐藤智生
12 (7月22日)	各論 : 人工内耳 (対面) : 担当 佐藤智生
13 (7月29日)	各論 : 口腔・咽頭・唾液腺疾患 (対面) : 担当 西秀昭
14 (7月29日)	各論 : 耳鼻咽喉科の救急疾患 (対面) : 担当 西秀昭
15 (8月5日)	各論 : めまい・平衡 (オンライン) : 担当 木原千春

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593003101	科目番号 / Course code	05930031
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b9ジェネティクスとエピジェネティクスの違い / Difference between Genetics and Epigenetics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou, 池田 裕明, 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou, 池田 裕明, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部 その他, 4校時目, 5校時目に授業出席が可能で, 規則に則って受講可能な学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	吉浦孝一郎<kyoshi nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) 池田裕明<hikeda nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) 木住野達也<kishino nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) 伊達木澄人<sdateki1 nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	長崎大学原爆後障害医療研究所2階人類遺伝学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7120		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日PM5:00~6:00 木曜日PM5:00~6:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヒトの病気や様々な体質が遺伝 (genetics) にもとづくものであることを理解するとともに, エピゲノムによっても調整されていることを学ぶ。それらの知識をもとに, 最近のいろいろな話題を取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	1. 遺伝現象について説明出来る。 2. 遺伝の原理について説明出来る。 3. 遺伝子組換え技術とゲノム編集について説明出来る。 4. 遺伝性疾患の成り立ちを概説できる。 5. エピジェネティック現象について説明出来る。 6. がんと遺伝, がんとエピジェネティック現象について説明出来る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業に積極的に取り組む姿勢 (50%), および 期末の試験 (50%) を参考に評価する。 講義回数の 1/3 を超えて欠席した学生には, 受験資格を認めない。  ただし, 担当教員4名は, 各々に評価する (25点/各自) ので, 担当教員の授業の始めによく確認すること。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>予習：授業資料は予めLACS を通して upload するので、それらに目を通して講義に望む。必要ならば、高校の教科書によって予習すること（目安：2時間）。</p> <p>復習：授業のノート、資料により復習して、考え方を身に付けること（目安：2時間）。</p>	
キーワード/Keywords	<p>遺伝（inheritance）、遺伝学（genetics）、エピジェネティクス（epigenetics）、ゲノム編集（genome editing）、がんの遺伝学（cancer genetics）、環境とジェネティクス・エピジェネティクス（interaction between environment and genetics/epigenetics）</p>	
教科書・教材・参考書/Materials	指定しない。専門科目ではないので、授業資料で十分である。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948  （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>	
備考/Remarks	<p>全ての授業で対面形式で実施する予定です。</p> <p>状況によっては、あるいは急用があったりした場合には、変更となる可能性があります。その場合にはLACSで連絡します。</p>	
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>吉浦孝一郎：分子遺伝学研究に基づき、ジェネティクス、エピジェネティクスの基盤原理を解説する。</p> <p>池田裕明：がんの発症メカニズム、治療法研究に基づき、がん発症・治療におけるジェネティクス、エピジェネティクスの重要性を解説する。</p> <p>木住野達也：エピゲノム研究、遺伝子改変モデル生物研究に基づきそれ研究におけるジェネティクス、エピジェネティクスの重要性・有用性を解説する。</p> <p>伊達木澄人：遺伝性疾患の臨床経験に基づき、病気の発症原因や診断、治療についてジェネティクス、エピジェネティクスの観点から説明する。</p>	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	<分子生物学入門：担当 吉浦，2024-Apr-9> ジェネティクスとエピジェネティクス理解のための細胞と分子生物学入門。細胞機能や DNA / RNA の物理性質等を講義する。	F
第2回	<ジェネティクス・エピジェネティクスの基本原理：担当 吉浦，2024-Apr-9> メンデル遺伝を含めた遺伝現象の基本、およびエピジェネティック現象の内容を講義する。	F
第3回	<ジェネティクスの臨床：担当 伊達木，2024-Apr-16> メンデル遺伝病（常染色体優性、劣性遺伝）の臨床的特徴について概説する。	F
第4回	<ジェネティクスの臨床：担当 伊達木，2024-Apr-16> メンデル遺伝病（X連鎖性）とミトコンドリア病の臨床的特徴について概説する。	F
第5回	<がんのジェネティクスとエピジェネティクス 1：担当 池田，2024-Apr-23> 発がんにおけるジェネティクスとエピジェネティクスの意義を解説する。	F
第6回	<がんのジェネティクスとエピジェネティクス 2：担当 池田，2024-Apr-23> がんの進展におけるジェネティクスとエピジェネティクスの意義を解説する。	F
第7回	<がんと免疫 1：担当 池田，2024-May-7> がんと免疫の関わりを解説する。	F
第8回	<がんと免疫 2：担当 池田，2024-May-7> がんの免疫療法について解説する。	F
第9回	<遺伝子組換え技術とゲノム編集：担当 木住野，2024-May-14> 知ってるようで知らない遺伝子組換え技術と最新のゲノム編集について解説する	D

第10回	< 遺伝子組換えと生物の多様性：担当 木住野，2024-May-14 > 生物の多様性と遺伝子組換えは密接に関わっています。それらと，ジェネティクス・エピジェネティクスの関わりについて解説する。	D
第11回	< 遺伝子組換え技術と医療：担当 木住野，2024-May-21 > 医療にかかせない遺伝子組換え技術に，近い将来ゲノム編集が加わるかも知れない。技術の医学への応用について解説する。	D
第12回	< エピジェネティクスの臨床：担当 伊達木，2024-May-21 > インプリンティング疾患の臨床的特徴について概説する。	F
第13回	< 身近なエピジェネティクス：担当 木住野，2024-May-28 > クローン生物を知ってますか？クローン生物の話題においても，ジェネティクス，エピジェネティクスは重要な役割を果たしている。それらの関わりについて解説する。	D
第14回	< 遺伝カウンセリングの実際：担当 伊達木，2024-May-28 > 遺伝性疾患を対象とした医療の実際における，遺伝カウンセリングの実際、意義、必要性について理解する。 基礎的な学問であるジェネティクス，エピジェネティクスの医療への応用について説明する。	F
第15回	< 獲得形質の遺伝とまとめ：担当 吉浦，2024-Jun-4 > 獲得形質の遺伝は，とんでも科学の一つ？ 獲得形質の遺伝について，ジェネティクス，エピジェネティクスの観点から概説する。また，最後に，本講義全体のまとめを行う。	F
第16回	< 試験：担当 吉浦，2024-Jun-4 > 講師全員分についてまとめて期末試験を行う。ただし，講師によっては，異なる評価法，途中の試験で評価する可能性もあるので，各講師の指示に従って対策すること。 第16回目の講義日の試験は，場合によっては，第15回授業時から開始する可能性もあるので，最終週は必ず出席すること！！	F

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593003301	科目番号 / Course code	05930033
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b9ジェネティクスとエピジェネティクスと私達の健康 / Genetics/Epigenetics and Our Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 下崎 康治 / Shimozaki Kouji, 今村 明 / Imamura Akira, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito, 古里 文吾 / Furusato Bungo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 下崎 康治 / Shimozaki Kouji, 今村 明 / Imamura Akira, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito, 古里 文吾 / Furusato Bungo		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hiromori nagasaki-u.ac.jp (メール送信の際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院小児科10階教授室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7298		
担当教員オフィスアワー/Office hours	長崎大学病院小児科医局受付 10:00~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>ジェネティクスとエピジェネティクスと私達の健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症のジェネティクス・エピジェネティクス</li> <li>・臨床遺伝学入門 ジェネティクスとエピジェネティクスの異常によるヒトの病気</li> <li>・こころの領域のジェネティクス・エピジェネティクス</li> <li>・ゲノム診療</li> <li>・老化と再生、若返りの脳神経科学</li> </ul>		
授業到達目標/Course goals	講義を通じて、ジェネティクスとエピジェネティクスの概念が理解できるようになる。自分自身の健康にそれがどのように関わっているのか考察することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各講師から出されたテーマをレポートにまとめ提出(100点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>予習: 講義資料を確認し事前に学習する(2時間)</p> <p>復習: それぞれの講義について提示される課題についてレポートを作成し提出する(2時間)</p>		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	講義日に講義に参加できること、オンライン(zoom)講義に必要な機材や環境が整っていること		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考/Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	実務家教員名:森内 浩幸 /下崎 康治 /今村 明 /伊達木 澄人 /古里 文吾 / 実務経験内容:大学医学部医学科・保健学科、教育学部などでの教育経験21年以上 実務経験に基づく教育内容:対面講義、オンライン講義、セミナー形式、実習指導など
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
1回目/4月8日(月)4限目	【対面】講義担当:伊達木 澄人 臨床遺伝学入門 ジェネティクスとエピジェティクスの異常によるヒトの病気
2回目/4月8日(月)5限目	【対面】講義担当:伊達木 澄人 臨床遺伝学入門 ジェネティクスとエピジェティクスの異常によるヒトの病気
3回目/4月15日(月)4限目	【対面】講義担当:伊達木 澄人 臨床遺伝学入門 ジェネティクスとエピジェティクスの異常によるヒトの病気
4回目/4月15日(月)5限目	【対面】講義担当:伊達木 澄人 臨床遺伝学入門 ジェネティクスとエピジェティクスの異常によるヒトの病気
5回目/4月22日(月)4限目	【対面】講義担当:森内 浩幸 多様性が生み出す豊かさと限りある命(1)
6回目/4月22日(月)5限目	【対面】講義担当:森内 浩幸 多様性が生み出す豊かさと限りある命(2)
7回目/5月13日(月)4限目	【対面】講義担当:下崎 康治 老化と再生、若返りの脳神経科学
8回目/5月13日(月)5限目	【対面】講義担当:下崎 康治 老化と再生、若返りの脳神経科学
9回目/5月20日(月)4限目	【対面】講義担当:今村 明 こころの領域のジェネティクス・エピジェネティクス
10回目/5月20日(月)5限目	【対面】講義担当:今村 明 こころの領域のジェネティクス・エピジェネティクス
11回目/5月27日(月)4限目	【対面】講義担当:古里 文吾 がんゲノム医療の現状
12回目/5月27日(月)5限目	【対面】講義担当:古里 文吾 がんゲノム医療の実践
13回目/6月3日(月)4限目	【対面】講義担当:今村 明 こころの領域のジェネティクス・エピジェネティクス
14回目/6月3日(月)5限目	【対面】講義担当:今村 明 こころの領域のジェネティクス・エピジェネティクス
15回目/6月10日(月)4限目	【対面】講義担当:森内 浩幸 感染症のジェネティクス・エピジェネティクス
16回目/6月10日(月)5限目	各講師から出されたテーマの課題を作成する時間に充てる

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593003501	科目番号 / Course code	05930035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b10リプロダクティブヘルス入門 / Introduction to Reproductive Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 神徳 備子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 神徳 備子		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学科・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyuki-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 医学部保健学科4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7950		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前に連絡してください		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>1. 結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題について学び、リプロダクティブライフプラン(生殖に関する人生設計)を作成し一生を見渡すことで、自分自身の健康につなげることができる。</p> <p>2. 結婚、妊娠、出産、乳幼児の発育・発達、育児について学び、フィールドリサーチを行うことでリプロダクティブヘルスの健康課題を理解し、自らの課題として解決方法を考えることができる。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>リプロダクティブライフプラン(生殖に関する人生設計)について説明できる。</p> <p>妊娠・出産・育児の中での役割について説明できる。</p> <p>胎児・乳幼児の発育・発達と養護について説明できる。</p> <p>結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決方法について発表できる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業へ臨む態度 30点(15回×2点) 小テスト20点、フィールドリサーチ課題10点、 課題レポート(ライフプラン作成)10点、グループワーク課題(リプロダクティブヘルス)10点 プレゼンテーション10点、最終課題レポート10点 計100点満点(60点以上で合格)</p> <p>評価者: 各講義担当者が行う。最終評価は科目責任者が行う。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: 各回の講義内容について文献、インターネット等を通じて予習する(2h/日)。</p> <p>事後学習: レジメ等を参考にして授業内容についてノートにまとめる(2h/日)。</p>		
キーワード/Keywords	リプロダクティブヘルス、プレコンセプション、結婚、妊娠、出産、育児		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書なし 必要に応じて資料を配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	<p>【講義・演習】</p> <p>授業は対面で実施します（一部リアルタイムオンライン）。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。</p> <p>1．講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用する場合は、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影したのも含む。</p> <p>2．SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関与した学生全員について、定期試験受験資格なしとするなどの対応をとることがある。</p> <p>人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など</p>	
学生へのメッセージ/Message for students	リプロダクティブライフプラン（生殖に関する人生設計）を考え、自分自身の健康へとつなげてほしいと思います。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	永橋 美幸/助産師/実務経験に基づき結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスについて講義を行う。/神徳備子/助産師/実務経験に基づき結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスについて講義を行う。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 (6/17)	授業ガイダンス リプロダクティブヘルス 【対面】（永橋，神徳）	A
第2回 (6/17)	プレコンセプション、性感染症【対面】（神徳）	A
第3回 (6/24)	講義のテーマは皆さんで決定します【対面】（神徳）	A
第4回 (6/24)	リプロダクティブライフプランを考えよう【対面】（神徳）	A
第5回 (7/1)	グループワーク（リプロダクティブヘルスとプラネタリーヘルスの関連）【対面】（神徳）	A B
第6回 (7/1)	グループワーク発表【対面】（神徳）	A B
第7回 (7/8)	マザーリングマザー、妊娠中からの親子のコミュニケーション、出産【対面】（永橋）	A
第8回 (7/8)	新生児の能力と養護、乳幼児の心身の発達・発育（マザリーズ）【対面】（永橋）	A
第9回 (7/16)	妊婦体験をしてみよう、新生児のお世話をしてみよう【対面】（神徳）	A C
第10回 (7/16)	産後の母親の1日の流れを考えてみよう（グループワーク・発表）【対面】（神徳）	A B C
第11回 (7/22)	結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題（フィールドリサーチ）（永橋）	A B C
第12回 (7/22)	結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題（フィールドリサーチ）（永橋）	A B C
第13回 (7/29)	結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決策（グループワーク）【リアルタイムオンライン】（永橋）	A B

第14回 (7/29)	結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決策(グループワーク)【リアルタイムオンライン】(永橋)	A B
第15回 (8/5)	結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決策(プレゼンテーション)【対面】(永橋)	A B

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240593003701	科目番号 / Course code	05930037
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b10健康課題と健康増進 / Health Issues and Health Promotion		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 貴子 / Tanaka Takako, 古川 美和 / Furukawa Miwa, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 富永 ちはる / Chiharu Tominaga, 柳田 頼英 / Yorihide Yanagita		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 貴子 / Tanaka Takako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 貴子 / Tanaka Takako, 古川 美和 / Furukawa Miwa, 富永 ちはる / Chiharu Tominaga, 柳 田 頼英 / Yorihide Yanagita		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学科・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tanakataka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科3F 田中貴子研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7919		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 9:30 ~ 12:30 事前にメールで連絡をお願いいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のための体力トレーニング・ スポーツ、食事、メンタルヘルス等について理解する。また、自身の健康に関わる問題点を抽出し 、その解決方法を身につける。		
授業到達目標/Course goals	1. 身体活動と食事のセルフチェックができるようになる。(DP-1・3) 2. 家庭医学知識のレベルを高める。(DP-1・3) 3. 青年期における健康づくりの意義と問題点について理解できるようになる。(DP-7) 4. 精神的な健康について理解できるようになる。(DP-7) 5. 健康における運動, スポーツの意義について理解できるようになる。(DP-7)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各教員がそれぞれ100点満点で採点し、その合計を担当コマ数で配分して100点満点とし、60点以上 を合格とする。各教員の100点の内訳は、授業へ臨む態度 (10%)、ペア・グループワーク・全体討 論での積極性 (10%)、発表およびレポート内容 (80%) とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：特に指定しないが、授業内容の理解と発表の為に事前に講義内容の十分な学修と知識の習得 を行い、グループごとの意見のまとめを共同して準備すること。またディスカッションには積極的 に参加すること。(毎回2時間) 復習：講義の内容について復習するとともに、講義に関連する事項について自主学習をし、プレゼ ンテーションにおける指摘事項等について十分な復習を行い、理解を確実にするよう努めること。 (毎回2時間)		
キーワード/Keywords	家庭医学、ヘルスポロモーション、健康、体力、メンタルヘルス、食生活		
教科書・教材・参考書/Materials	特に定めない。配布資料。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は全て対面形式で実施します。 授業の初回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。 その際はLACSでご連絡いたします。
学生へのメッセージ/Message for students	健康科学と医学の知識を高めるとともに、自身の健康増進や体力増進の実践方法を学んでください。また、ペアワークやグループワークを行いますので、友達を増やす機会になればと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	第1~4回,15回: 田中貴子/理学療法士として長崎市内の病院に勤務した経験をもとに青壮年の健康について、高齢期における心身の変化からの視点も含めて教授する。 第5~6回: 柳田頼英/理学療法士として長崎・静岡での病院に勤務した経験をもとに青壮年における体力とそのトレーニングについて教授する。 第7~10回: 富永ちはる/カウンセラーとして長崎大学保健・医療推進センターにての実務経験をもとに青年期のメンタルヘルスについて教授する。 第11~14回: 古川美和/管理栄養士として長崎市内の施設に勤務している経験をもとに青壮年の食生活について教授する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4月8日	(対面) 担当: 田中貴子 オリエンテーション 青年期の健康を考える: 身体機能について学ぶ
4月8日	(対面) 担当: 田中貴子 青年期の健康を考える; 医学知識を高める
4月15日	(対面) 担当: 田中貴子 高齢期における心身の変化から青年期の健康・体力増進を考える
4月15日	(対面) 担当: 田中貴子 高齢期における心身の変化から青年期の健康・体力増進を考える
4月22日	(対面) 担当: 柳田頼英 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ
4月22日	(対面) 担当: 柳田頼英 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ
5月13日	(対面) 担当: 富永ちはる 青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
5月13日	(対面) 担当: 富永ちはる 青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
5月20日	(対面) 担当: 富永ちはる 青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
5月20日	(対面) 担当: 富永ちはる 青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
5月27日	(対面) 担当: 古川美和 青年期の食生活について学ぶ
5月27日	(対面) 担当: 古川美和 青年期の食生活について学ぶ
6月3日	(オンデマンド) 担当: 古川美和 青年期の食生活について学ぶ
6月3日	(オンデマンド) 担当: 古川美和 青年期の食生活について学ぶ
6月10日	(対面) 担当: 田中貴子 青年期の健康を考える; 現在の問題点を探る・対策を考える

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587002501	科目番号 / Course code	05870025
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11721_005		
授業科目名 / Course title	b11食の科学 / Science for Food Intake		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川下 由美子 / Kawashita Yumiko, 久松 徳子 / Hisamatsu Noriko, 日高 聖 / Hidaka Kiyoshi, 佛坂 斉祉 / Hotokezaka Hitoshi, 五月女 さき子 / Sotome Sakiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	川下 由美子 / Kawashita Yumiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	川下 由美子 / Kawashita Yumiko, 久松 徳子 / Hisamatsu Noriko, 日高 聖 / Hidaka Kiyoshi, 佛坂 斉祉 / Hotokezaka Hitoshi, 五月女 さき子 / Sotome Sakiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	日高 聖 : hidaka2 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 久松 徳子 : norinori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 五月女 さき子 : sakiko nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 川下 由美子 : yumiko-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 佛坂 斉祉 : hotoke nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	歯学部		
担当教員TEL/Tel	日高 聖 : hidaka2 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 久松 徳子 : norinori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 五月女 さき子 : sakiko nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 川下 由美子 : yumiko-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 佛坂 斉祉 : hotoke nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日17~18時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちを含むすべての生物は、食べるという行為によって有機物を体内に取り込み、エネルギーを産み出し、身体を構成する組織に変換していくことで、生命が誕生したときから命を引き継いできました。つまり食べるということは生きていく事そのものなのです。その入り口である「口腔と歯」は生きる事の入りの口ともいえます。食に関連した人体の構造、機能とその異常を示す疾患について、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深めることが出来ればと思います。		
授業到達目標/Course goals	食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について予防医学的な観点から説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	5名の教官で担当するので5名それぞれが20点満点、合計100点で評価し、60点以上を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事後学習に重点を置いて、授業の理解と発表のために、講義内容の学修と知識の習得を行うこと(2h)。 また、ディスカッションには積極的に参加すること。講義内容およびプレゼンテーションにおける指摘事項等について復習をすること(2h)。
キーワード/Keywords	口腔、咽頭、摂食嚥下、食事、栄養、健康、肥満、ダイエット、生活習慣病、予防医学、進化、多様性、審美
教科書・教材・参考書/Materials	特になし。資料は講義内で配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	記載例：授業は対面形式で実施します。 最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。 その場合はLACS で連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	5名の教官の専門はそれぞれ違うので多様な歯科を見て欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	各回の授業内容に準じる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 6月11日 3校時	日高 聖：食べる機能の発達と先天性疾患 / 対面
第2回 6月11日 4校時	日高 聖：食べる機能の発達と先天性疾患 / 対面
第3回 6月18日 3校時	日高 聖：食べる機能の発達と先天性疾患 / 対面
第4回 6月18日 4校時	久松 徳子：嚥下って何？ / 対面
第5回 6月25日 3校時	久松 徳子：嚥下が悪くなるようになるの？ / 対面
第6回 6月25日 4校時	久松 徳子：嚥下機能が悪くなったらどうしたらいい？ / 対面
第7回 7月2日 3校時	佛坂 斉社：歯列と口元の審美と健康の関係について / オンライン（リアルタイム）
第8回 7月2日 4校時	佛坂 斉社：生物の進化と多様性について / オンライン（リアルタイム）
第9回 7月9日 3校時	佛坂 斉社：生物の進化と多様性について / オンライン（リアルタイム）
第10回 7月9日 4校時	五月女 さき子：食をクリティカルに考える / 対面
第11回 7月23日 3校時	五月女 さき子：食をクリティカルに考える / 対面
第12回 7月23日 4校時	五月女 さき子：食をクリティカルに考える / 対面
第13回 7月30日 3校時	川下 由美子：砂糖とう蝕 / 対面
第14回 7月30日 4校時	川下 由美子：砂糖とう蝕 / 対面
第15回 8月6日 3校時	川下 由美子：砂糖とう蝕 / 対面
第16回	予備

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587003701	科目番号 / Course code	05870037
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11751_005		
授業科目名 / Course title	b11審美 / Esthetics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro, 江越 貴文 / Egoshi Takafumi, 右藤 友督 / Uto Yuusuke, 張 曉旭, 佛坂 齊社 / Hotokezaka Hitoshi, 平 曜輔 / Taira Yousuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro, 江越 貴文 / Egoshi Takafumi, 右藤 友督 / Uto Yuusuke, 張 曉旭, 平 曜輔 / Taira Yousuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	尾立/odatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 右藤/y-uto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 江越/egoshi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 平/yohsuke nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 田上/t-naomi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学病院8階 医歯薬総合研究科口腔インプラント学分野		
担当教員TEL/Tel	メールにて連絡すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	17時~18時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	美とは何か、美学について美の歴史、美の表現についての理解を深め、実際の美に関わる医療について習得する。		
授業到達目標/Course goals	グループワークにおいて、メンバー他者と協力しながら、物事を進展・達成することができる。(、) プレゼンテーションなどにおいて、自分の考えを相手にわかりやすく伝えることができる。( )		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーションやレポートの提出(70%)、授業への取組み(30%)で評価します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	プレゼンテーションの準備(2h)、レポートの作成を求めます。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書等の準備は必要ありません。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	プレゼンテーションやレポートの提出があるため、欠席しないようお願いします。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	平 曜輔/長崎大学病院における診療実務経験/大学病院における保存修復治療の経験を元に、冠橋義歯学に関する講義、実習を実施する。/ 右藤 友督/長崎大学病院における診療実務経験/大学病院における冠橋補綴治療の経験を元に、冠橋義歯学に関する講義、実習を実施する。/ 江越 貴文/長崎大学病院における診療実務経験/大学病院における冠橋補綴治療の経験を元に、冠橋義歯学に関する講義、実習を実施する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	審美修復 1 (右藤)
第2回	審美修復 2 (右藤)
第3回	審美修復 3 (右藤)
第4回	審美材料 1 (尾立)
第5回	審美材料 2 (尾立)
第6回	審美材料 3 (尾立)
第7回	審美修復 4 (平)
第8回	審美修復 5 (平)
第9回	審美修復 6 (平)
第10回	審美修復 7 (田上)
第11回	審美修復 8 (田上)
第12回	審美修復 9 (田上)
第13回	美について 1 (江越)
第14回	美について 2 (江越)
第15回	美について 3 (江越)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587002901	科目番号 / Course code	05870029
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11731_005		
授業科目名 / Course title	b12口と疾患 / Oral Diseases		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 岩下 未咲, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 岩下 未咲, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	Engineering・Environmental		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iwashitam nagasaki-u.ac.jp (Iwashita) (Replace with before sending an e-mail) yanagi nagasaki-u.ac.jp (Yanagiguchi) torisu nagasaki-u.ac.jp (Torisu)		
担当教員研究室/Office	Room for associate and senior assistant professor of Periodontology (Yoshimura) Room for associate and senior assistant professor of Cariology (Yanagiguchi) Room for teachers of Prosthodontics (Torisu)		
担当教員TEL/Tel	095-819-7682(Iwashita), 819-7692(Torisu), 819-7682(Yanagiguchi)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Monday-Friday 9:00-17:00 E-mail message is preferable.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	You will understand the causes, symptoms, treatment methods and preventive methods of the main disease in mouth such as a temporo-mandibular joint disorder, a chewing disorder, caries, periodontal diseases. Furthermore, using knowledge necessary to maintain the health in the mouth, you will find the methods to keep your mouth healthy.		
授業到達目標/Course goals	You will be able to explain main causes and symptoms of the principle mouth diseases (5, 7, 8)。 You will be able to explain rough treatment methods of the principle mouth diseases (3)。 You will be able to explain rough preventive methods of the principle mouth diseases (10, 11)。 You will be able to think about the methods to increase health in your mouth by yourself (1, 2, 6)。 You will be able to think about the methods to increase health in your mouth by		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Reports (75%), presentation(25%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	You need to carry out prior researches about the contents of the class before every class for discussion (2h). After the class, you need to make a report according to the discussion and researched results (2h).		
キーワード/Keywords	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder, dental caries, periodontal diseases		

教科書・教材・参考書/Materials	You do not have to purchase textbooks. Some reference books will be introduced in the
受講要件(履修条件)/Prerequisites	You need to attend two-third or more of the classes.
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-
備考/Remarks	face-to-face lessons
学生へのメッセージ/Message for students	Review the knowledges that you learned in module I.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	Misaki Iwashita/Experience as a dentist/ Tetsuro Torisu/Experience as a dentist/ Gajiro Yanagiguchi/Experience as a dentist/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st 4/9(Tue) 3	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder ( 1 ) Torisu : face-to-face lesson
2nd 4/9(Tue) 4	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder ( 2 ) Torisu : face-to-face lesson
3rd 4/16(Tue) 3	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder ( 3 ) Torisu : face-to-face lesson
4th 4/16(Tue) 4	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder ( 4 ) Torisu : face-to-face lesson
5th 4/23(Tue) 3	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder ( 5 ) Torisu : face-to-face lesson
6th 4/23(Tue) 4	Causes and symptoms of the caries ( 1 ) Yanagiguchi : face-to-face lesson
7th 5/7(Tue) 3	Causes and symptoms of the caries ( 2 ) Yanagiguchi : face-to-face lesson
8th 5/7(Tue) 4	Treatment and the prevention of the caries ( 1 ) Yanagiguchi : face-to-face lesson
9th 5/14(Tue) 3	Treatment and the prevention of the caries ( 2 ) Yanagiguchi : face-to-face lesson
10th 5/14(Tue) 4	Treatment and the prevention of the caries ( 3 ) Yanagiguchi : face-to-face lesson
11th 5/21(Tue) 3	Periodontal diseases ( 1 ) Iwashita : face-to-face lesson
12th 5/21(Tue) 4	Periodontal diseases ( 2 ) Iwashita : face-to-face lesson
13th 5/28(Tue) 3	Periodontal diseases ( 3 ) Iwashita : face-to-face lesson
14th 5/28(Tue) 4	Periodontal diseases ( 4 ) Iwashita : face-to-face lesson
15th 6/4(Tue) 3	Periodontal diseases ( 5 ) Iwashita : face-to-face lesson

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587002901	科目番号 / Course code	05870029
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11731_005		
授業科目名 / Course title	b12口と疾患 / Oral Diseases		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 岩下 未咲, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 岩下 未咲, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iwashitam nagasaki-u.ac.jp(岩下) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) yanagi nagasaki-u.ac.jp(柳口) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) torisu nagasaki-u.ac.jp(鳥巢) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	歯周歯内治療学准教授・講師室(岩下) 歯周歯内治療学准教授・講師室(柳口) 歯科補綴学教員室(鳥巢),		
担当教員TEL/Tel	819-7682(岩下) 819-7682(柳口) 819-7692(鳥巢)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金曜日 9:00～17:00 Eメールにより質問を受け付けます。上記Eメールアドレスに連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	顎関節障害、咀嚼障害、齲蝕、歯周病などの口の中の主な疾患の原因と症状、治療法、予防法について理解する。さらに、口の中の健康を維持するために必要な知識を用いて、口の中の健康を増進するために活かす態度を見につける。		
授業到達目標/Course goals	主な口の疾患の原因と症状について説明できる(5、7、8)。 主な口の疾患の治療法について説明できる(3)。 主な口の疾患の予防法について説明できる(10、11)。 口の中の健康を増進するための方法について、自ら考えることができる(1、2、6)。 口の中の健康を増進するための方法について、他者と協働で考えることができる(4、11、12)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポートなどの提出物(75%)、発表態度(25%)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回各自で授業内容に関してネットや文献で事前調査し、ディスカッションの前準備をすること(2h程度)。授業後は調査した資料とディスカッションの結果をもとにレポートを作成・修正すること(2h程度)		
キーワード/Keywords	顎関節障害・咀嚼障害・齲蝕・歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に使用しない。参考書は、授業を進めて行く中で、適宜紹介する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	開講された講義の3分の2以上に出席すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業で実施
学生へのメッセージ/Message for students	モジュール で学習した内容は、復習しておくこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	岩下 未咲/歯科医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 鳥巢 哲朗/大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業/臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供/ 柳口 嘉治郎/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯周治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。/
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回 4/9(火) 3校時	顎関節障害・咀嚼障害(1)(鳥巢哲朗):対面
第2回 4/9(火) 4校時	顎関節障害・咀嚼障害(2)(鳥巢哲朗):対面
第3回 4/16(火) 3校時	顎関節障害・咀嚼障害(3)(鳥巢哲朗):対面
第4回 4/16(火) 4校時	顎関節障害・咀嚼障害(4)(鳥巢哲朗):対面
第5回 4/23(火) 3校時	顎関節障害・咀嚼障害(5)(鳥巢哲朗):対面
第6回 4/23(火) 4校時	齲蝕の原因と症状(1)(柳口嘉治郎):対面
第7回 5/7(火) 3校時	齲蝕の原因と症状(2)(柳口嘉治郎):対面
第8回 5/7(火) 4校時	齲蝕の治療と予防(1)(柳口嘉治郎):対面
第9回 5/14(火) 3校時	齲蝕の治療と予防(2)(柳口嘉治郎):対面
第10回 5/14(火) 4校時	齲蝕の治療と予防(3)(柳口嘉治郎):対面
第11回 5/21(火) 3校時	歯周病の症状と治療(1)(岩下未咲):対面
第12回 5/21(火) 4校時	歯周病の症状と治療(2)(岩下未咲):対面
第13回 5/28(火) 3校時	歯周病の症状と治療(3)(岩下未咲):対面
第14回 5/28(火) 4校時	歯周病の症状と治療(4)(岩下未咲):対面
第15回 6/4(火) 3校時	歯周病の症状と治療(5)(岩下未咲):対面

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587057101	科目番号 / Course code	05870571
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15531_005		
授業科目名 / Course title	b12口腔から始まる健康 / General Health Based on Oral Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 原田 佳枝 / HARADA Kae, 山田 志津香 / Yamada Shizuka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 原田 佳枝 / HARADA Kae, 山田 志津香 / Yamada Shizuka		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmurata nagasaki-u.ac.jp (Change to @)		
担当教員研究室/Office	Nagasaki University Hospital 8F room839		
担当教員TEL/Tel	095-819-7690		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Murata: Wednesday 17:00 - 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Students study oral function, change by the aging in the alveolar bone collagen and so		
授業到達目標/Course goals	Students can explain importance and methods of maintenance and improvement of oral		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Report (50%), Contribution toward class (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Study method of presentation (2h), Review (2h)		
キーワード/Keywords	Super aging society, Oral function, QOL, Sleep, respiratory function, collagen, Nagasaki		
教科書・教材・参考書/Materials	There is nothing in particular, but if you are interested, please refer to the following; 1 「長生きする入れ歯 - 科学的根拠に基づく知識と治療法 (ブルーバックス、早川巖) 2 コラーゲンの話 - 健康と美をまもる高分子 (中公新書、大崎茂芳)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	Students must attend the classes of more than 2/3 and submit reports.		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	Classes will be held in a hybrid format of face-to-face and online formats. There may be changes depending on the situation, but in that case we will notify you via LACS.		
学生へのメッセージ/Message for students	Please do not hesitate to ask the questions.		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	村田 比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務を継続中/実務経験に基づき、口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療、加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を講義する。/ 鮎瀬 卓郎/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。/ 山田 志津香/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯内治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st (6/11)	Explanation of theme and method of investigation concerning oral function. Investigation by each group. (Murata) (Face to Face)
2nd (6/11)	Investigation by each group. (Murata) (Face to Face)
3rd (6/18)	Investigation by each group. (Murata) (On line)
4th (6/18)	Investigation by each group. (Murata) (On line)
5th (6/25)	Presentation by each group. Lecture concerning oral function. (Murata) (Face to Face)
6th (6/25)	Leading-edge of Medical AI: Lecture. Determination of theme for each group. (Tamada) (Face to Face)
7th (7/2)	Investigation by each group. (Tamada) (On line)
8th (7/2)	Interim Presentation. Investigation by each group. (Tamada) (On line)
9th (7/9)	Investigation by each group. (Tamada) (Face to Face)
10th (7/9)	Final Presentation. Commentary. (Tamada) (Face to Face)
11th (7/23)	Lecture of Collagen biochemistry and Explanation about group work.(Yamada) (Face to Face)
12th (7/23)	Investigation by each group. (Yamada) (On line)
13th (7/30)	Investigation by each group. (Yamada) (On line)
14th (7/30)	Investigation by each group. (Yamada) (On line)
15th (8/6)	Presentation by each group and Lecture of Change by the aging in the hard tissue collagen.(Yamada) (Face to Face)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587057101	科目番号 / Course code	05870571
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15531_005		
授業科目名 / Course title	b12口腔から始まる健康 / General Health Based on Oral Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 原田 佳枝 / HARADA Kae, 山田 志津香 / Yamada Shizuka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 原田 佳枝 / HARADA Kae, 山田 志津香 / Yamada Shizuka		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	村田 : hmurata nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	病院本館 8階839室		
担当教員TEL/Tel	村田 : 095-819-7690		
担当教員オフィスアワー/Office hours	村田 : 水17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療について学ぶ。また加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	口腔の健康を維持そして増進するための重要性と方策を説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポートおよび授業への貢献度により評価します。授業外学習に充てるべき時間：週平均 2時間位 【成績評価項目】授業内の課題および授業参加度50%、レポート等50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	プレゼンテーションの手法を事前に学習してほしい。(2h) 事後学習(2h)		
キーワード/Keywords	超高齢社会・口腔機能・QOL・睡眠・呼吸機能・コラーゲン・長崎		
教科書・教材・参考書/Materials	特にないが、興味のある方は「長生きする入れ歯 - 科学的根拠に基づく知識と治療法 (ブルーバックス、早川巖)、およびコラーゲンの話 - 健康と美をまもる高分子 (中公新書、大崎茂芳) を参考にしてください。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	全授業の2/3以上の出席、およびレポートを提出しないと成立しません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	授業は対面形式とオンライン形式のハイブリッド型で実施します。状況によっては変更になる場合もありますが、その際はLACSで連絡します。		

学生へのメッセージ/Message for students	疑問点および聞きたいことがあれば、遠慮なく質問してください。 上記の時間割で、担当者と項目が変わる場合があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	村田 比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務を継続中/実務経験に基づき、口腔機能の回復や歯科に関する知識を講義する。/ 山田 志津香/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯内治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。/ 玉田 泰嗣/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療など歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (6/11(火)3校時)	口腔機能関するテーマと調査方法等について説明、各グループで調査(村田)(対面)
第2回 (6/11(火)4校時)	各グループで調査(村田)(対面)
第3回 (6/18(火)3校時)	各グループで調査(村田)(オンライン(リアルタイム))
第4回 (6/18(火)4校時)	各グループで調査(村田)(オンライン(リアルタイム))
第5回 (6/25(火)3校時)	発表会、講義・解説(村田)(対面)
第6回 (6/25(火)4校時)	最新の医療AIについて(講義)、グループごとの課題決定(玉田)(対面)
第7回 (7/2(火)3校時)	各グループで調査(玉田)(オンライン(リアルタイム))
第8回 (7/2(火)4校時)	中間発表、各グループで調査(玉田)(オンライン(リアルタイム))
第9回 (7/9(火)3校時)	各グループで調査(玉田)(対面)
第10回 (7/9(火)4校時)	最終発表、解説(玉田)(対面)
第11回 (7/23(火)3校時)	コラーゲンの基礎(講義)、課題発表と調査方法等についての説明(山田)(対面)
第12回 (7/23(火)4校時)	各グループで調査(山田)(オンライン(リアルタイム))
第13回 (7/30(火)3校時)	各グループで調査(山田)(オンライン(リアルタイム))
第14回 (7/30(火)4校時)	各グループで調査(山田)(オンライン(リアルタイム))
第15回 (8/6(火)3校時)	発表会、コラーゲンの加齢による変化(講義)(山田)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587014101	科目番号 / Course code	05870141
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14201_005		
授業科目名 / Course title	b13生体分子の構造と機能 / Structure and Function of Biological Molecules		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	海野 英昭 / Unno Hideaki, 澤井 仁美		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	海野 英昭 / Unno Hideaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	海野 英昭 / Unno Hideaki, 澤井 仁美		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	海野 : unno nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 澤井 : hitomisawai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館生体分子化学実験室2-1, 2-2		
担当教員TEL/Tel	海野 : unno nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 澤井 : hitomisawai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (できるだけ前もってメールで問い合わせること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生命を理解するためには生物を構成する様々な生体分子の構造とそれらの間の相互作用を理解する必要がある。この講義では、生命活動の基本となる生体分子の構造と機能を理解するとともに、それらの相互作用がどのように生命活動に重要な役割を果たしているかについて学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	<p>生体の主要成分(タンパク質, 核酸, 糖, 脂質)の特性および機能を理解し, 説明ができるようになる。</p> <p>講義の前半および後半を海野と澤井がそれぞれ担当する。 前半については、生体分子の構造と機能に関する、学生によるプレゼンテーション資料の作成およびその発表(プレゼンテーション)を行う。各自で生体分子と機能に関する内容の発表テーマを決定し、それについての情報収集および発表資料(パワーポイント)の作成を行う事で、科学的知見に基づいた情報を収集し、論理的に思考し、発表としてまとめる能力を養う。また、各自でプレゼンテーションを行う事で、わかりやすい説明、興味を引く話題展開、などのアウトプット能力の向上に取り組む。</p> <p>到達目標: テーマに関する知識・技能を習得する。発表資料作成を行う事で主体性を習得する。資料の作成および発表を通して、論理的組み立てを行う能力を習得する。考えをやりとりする力(ディスカッション能力)を身につける。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	前半(第1~8回)についてはプレゼンテーションの内容(80%)および授業における積極的取り組み(20%)状況等を考慮して成績評価を行う。 後半については別途、課題の作成等で評価を行う(100%)。 成績は、前半と後半の成績を総合し成績評価とする。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	テキストの該当部分を事前・事後に読むこと。プレゼンテーション資料の作成。（4h）
キーワード/Keywords	タンパク質、遺伝子、バイオテクノロジー、生体金属
教科書・教材・参考書/Materials	「はじめて学ぶ 生命科学の基礎」 畠山智充・小田達也（編著）化学同人 第9-15回の参考書「生命金属ダイナミクス：生体内における金属の挙動と制御」城宜嗣・津本浩平（監修）NTS出版
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面またはオンラインで実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	海野／臨床検査会社における実務経験/生命科学の講義において、その基礎から臨床検査等への応用技術の発展まで解説する。 澤井仁美／国立研究開発法人の研究機関で6年間（現在も客員研究員として研究に従事している）、その後、大学共同利用機関法人の研究所で7年間、タンパク質の構造と機能に関する研究に従事した経験を活かし、生命現象の仕組みをわかりやすく解説します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	生体分子の構造と機能に関する、プレゼンテーション資料作成・グループワーク（対面）：担当 海野 英昭
第2回	生体分子の構造と機能に関する、プレゼンテーション資料作成・グループワーク（対面）：担当 海野 英昭
第3回	生体分子の構造と機能に関する、プレゼンテーション資料作成・グループワーク（対面）：担当 海野 英昭
第4回	生体分子の構造と機能に関する、プレゼンテーション資料作成・グループワーク（対面）：担当 海野 英昭
第5回	生体分子の構造と機能に関するプレゼンテーション（対面）：担当 海野 英昭
第6回	生体分子の構造と機能に関するプレゼンテーション（対面）：担当 海野 英昭
第7回	生体分子の構造と機能に関するプレゼンテーション（対面）：担当 海野 英昭
第8回	生体分子の構造と機能に関するプレゼンテーション（対面）：担当 海野 英昭
第9回	からだの中の金属の特徴と機能：生体金属の取り込みと利用に関する生体分子科学（対面・講義形式）：担当 澤井 仁美
第10回	からだの中の金属の特徴と機能：生体金属の取り込みと利用に関する生体分子科学（対面・講義形式）：担当 澤井 仁美
第11回	生体金属の研究に関するプレゼンテーション資料作成とグループワーク（オンライン）：担当 澤井 仁美
第12回	生体金属の研究に関するプレゼンテーション資料作成とグループワーク（オンライン）：担当 澤井 仁美
第13回	生体金属の研究に関するプレゼンテーション資料作成とグループワーク、まとめ（オンライン）：担当 澤井 仁美
第14回	生体金属の研究に関するプレゼンテーション資料作成とグループワーク、まとめ（オンライン）：担当 澤井 仁美
第15回	まとめ（オンライン）：担当 澤井 仁美

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587063501	科目番号 / Course code	05870635
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15671_005		
授業科目名 / Course title	b13構造物の世界 / The World of Structures		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永井 弘人 / Nagai Hiroto, 原田 哲夫 / Harada Tetsuo, 原田 晃 / Harada Akira, 海野 英昭 / Unno Hideaki, 佐々木 謙二 / Sasaki Kenji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	永井 弘人 / Nagai Hiroto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	永井 弘人 / Nagai Hiroto, 原田 哲夫 / Harada Tetsuo, 原田 晃 / Harada Akira, 佐々木 謙二 / Sasaki Kenji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	(原田哲夫)tharada nagasaki-u.ac.jp (佐々木)ksasaki nagasaki-u.ac.jp (永井)nagai nagasaki-u.ac.jp (原田晃)a-harada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館 503(佐々木)、604(永井)、401(原田晃)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2592(佐々木)、095-819-2589(永井)、095-819-2608(原田晃)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	基本的には講義終了後講義室,またはmailで受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	身の回りには様々な構造物や製品がある。建物、橋、機械、航空機、船など、すべて構造物と捉えることができる。それらがどのようにして成り立っているかを学ぶ。また、日頃何気なく使用しているものの原理や自然現象の科学を理解する。		
授業到達目標/Course goals	自らの意見を正確に表現できるようになる。 異なる意見を聞くことができるようになる。 構造物として成立するための原理が説明できるようになる。 この講義によって、構造物や身の回りの物、自然現象などに共通の原理について考察ができることを到達目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提示されたテーマに対するレポートの結果によって100%評価する。定期試験は実施しない。未提出のレポートや作品がある場合は、不合格とする。 レポートでは、自分自身の多面的な考察、意見、感想を主に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	身のまわりにあるさまざま構造物の特徴について、事前に調べておく(2h)。 復習レポートやテーマ別レポートを課す(2h)。		
キーワード/Keywords	構造物、建物、橋、航空機		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。必要に応じて、資料を配布するとともに、参考文献等を講義中に紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席を原則とする。なお、高等学校までの物理学の受講の有無は問わない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面実施（オンラインで行う授業の回は別途LACSで連絡する）。 担当教員はいずれも工学部構造工学コースの教員であり、構造工学コースのホームページを参照すると授業の理解が進むと思われる。
学生へのメッセージ/Message for students	テーマの順序が入れ替わることがある。 授業への積極的な参加を求める。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	構造物とは（その1）（対面）：担当 原田哲夫
第2回	構造物とは（その2）（対面）：担当 原田哲夫
第3回	構造物の成り立ち（その1）（対面）：担当 原田哲夫
第4回	構造物の成り立ち（その2）（対面）：担当 原田哲夫
第5回	橋梁の種類・特徴と設計・施工（対面）：担当 佐々木謙二
第6回	コンクリートの種類・特徴（対面）：担当 佐々木謙二
第7回	コンクリート構造物のメンテナンス技術（対面）：担当 佐々木謙二
第8回	インフラ構造物におけるDX，カーボンニュートラル（対面）：担当 佐々木謙二
第9回	航空機の種類と歴史（対面）：担当 永井弘人
第10回	航空機はなぜ飛ぶか（対面）：担当 永井弘人
第11回	航空機の推進装置と安定性（対面）：担当 永井弘人
第12回	航空機の構造と設計（対面）：担当 永井弘人
第13回	力と変形（その1：曲げ） 鉄骨の断面はなぜあの形？（対面）：担当 原田晃
第14回	力と変形（その2：圧縮） アーチ形状はなぜ強い？（対面）：担当 原田晃
第15回	力と変形（その3：座屈） 圧縮すると曲がる？（対面）：担当 原田晃
第16回	力と変形（その4：複合構造） ウィークポイントをストロングポイントで補おう！（対面）：担当 原田晃

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587016501	科目番号 / Course code	05870165
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12981_005		
授業科目名 / Course title	b14廃棄物と土壌・地下水汚染 / Waste Management and Groundwater		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi, 西山 雅也 / Nishiyama Masaya, 中川 啓 / Nakagawa Kei, 利部 慎 / Kagabu Makoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi, 西山 雅也 / Nishiyama Masaya, 中川 啓 / Nakagawa Kei, 利部 慎 / Kagabu Makoto		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	asakura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	廃棄物資源工学研究室(環境科学部3階、環350)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2760		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時、事前に連絡をとること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	水資源としての地下水利用、土壌・地下水汚染の現状、汚染の挙動解析法や対策技術などについて学ぶ。また、廃棄物の処理とリサイクルに関する基本的な法制度・計画と、各種処理技術を学び、問題点と理想像、そのギャップを埋める手法・計画などを考える。		
授業到達目標/Course goals	<p>廃棄物問題、土壌・地下水汚染についての基本的事項を理解できるようになる。( )</p> <p>水資源としての地下水利用について説明することができるようになる。( )</p> <p>汚染の挙動解析法や対策技術について理解できるようになる。( )</p> <p>廃棄物の処理とリサイクルに関する基本的な法制度・計画と、各種処理技術を理解できるようになる。( )</p> <p>廃棄物処理の問題点と理想像、そのギャップを埋める手法・計画などを考えることができるようになる。( )</p> <p>廃棄物処理の問題について、自主的に課題解決に取り組み、また、他と協働して解決につながる活動を模索できるようになる。( )</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>「廃棄物問題」「地下水汚染」「土壌汚染」の3つのカテゴリーに分けて講義するので、それらのレポート(予習復習課題およびレポート課題=100点)を採点し、それらの平均とする。60点以上を合格とする。</p> <p>教員の指示に従うこと。指示に従わない場合は、欠席扱いや課題提出を許可しないなどの対応を取る。</p> <p>出席登録の詐取や協力に対して、1度につき2時限分の欠席として扱う。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>授業前に提示される資料や関連書籍に目を通しておくこと。(2h)</p> <p>授業後は指示されたレポートにとりくみ、また、提示された資料や関連書籍に目を通すこと。(2h)</p>		

キーワード/Keywords	水資源、廃棄物、土壌、地下水汚染、土壌汚染、対策技術
教科書・教材・参考書/Materials	パソコンを持ってきてください。 必要な資料は、LACSや印刷物で配布します。 特に定めないが、廃棄物、地下水学、土壌学に関するテキストに目を通すことをお勧めします。 例えば、地下水に関しては、藤縄克之著「環境地下水学」共立出版など。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は主に対面で実施されます。変更があれば、お知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	講義内容と関連する書籍やテキストに目を通すこと
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	朝倉 宏/建設コンサルタントにおける一般廃棄物処理基本計画作成/建設コンサルタントにおける実務経験を持つ教員が、各自治体で策定する一般廃棄物処理基本計画の策定の意義・方針・手法を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「廃棄物と土壌・地下水汚染」とは(中川 啓 教員) (対面)
第2回	世界と日本の水資源と地下水の利用、地下水汚染(中川 啓 教員) (対面)
第3回	地下水水質の評価について(1)-利き水による官能試験実習(中川 啓 教員) (対面)
第4回	地下水水質の評価について(2)-簡易な水質測定とダイアグラムの描画実習(中川 啓 教員) (対面)
第5回	ごみの削減目標と施策：1.ごみの定義と削減に関する講義(朝倉 宏 教員) (対面) ごみの削減目標と施策：2.長崎市のごみと削減に関する講義(朝倉 宏 教員) (対面)
第6回	ごみ削減施策の作成作業時間(朝倉 宏 教員) (対面)
第7回	ごみの削減目標と施策：3.課題の相互チェックに関する講義(朝倉 宏 教員) (対面)
第8回	修正意見の作成作業時間(朝倉 宏 教員) (対面)
第9回	地下水とは-「量」の特徴(利部 慎 教員) (対面)
第10回	地下水とは-「水質」の特徴(利部 慎 教員) (対面)
第11回	土壌汚染の特徴と土壌の性質(西山 雅也 教員) (対面)
第12回	土壌の性質を理解する(西山 雅也 教員) (対面)
第13回	土壌の性質と土壌汚染(西山 雅也 教員) (対面)
第14回	土壌汚染対策(西山 雅也 教員) (対面)
第15回	まとめと講評(担当教員全員) (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587052901	科目番号 / Course code	05870529
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15411_005		
授業科目名 / Course title	b14有害化学物質の管理と処理 / Management and Handling of Harmful Chemicals		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	久保 隆 / Kubo Takashi, 真木 俊英 / Maki Toshihide, 朝倉 宏 / Asakura Hiroshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	久保 隆 / Kubo Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	久保 隆 / Kubo Takashi, 真木 俊英 / Maki Toshihide		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kubo-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 環335		
担当教員TEL/Tel	095-819-2756		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前連絡があれば随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	有害化学物質のマネジメントについて理解するとともに、長崎大学における廃液処理の実際を学び、環境保全に関連してとるべき行動について理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	有害化学物質による汚染事例等について自ら学び( )、議論や発表を通じて理解を深める( )。 また、有害化学物質の管理制度について学ぶとともに( )、本学における廃液処理管理等に関して学生相互に意見を出し合い、課題を発見・解析できるようになる( )。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義への積極的取り組み30%, 試験20%, レポート50%で評価し, 60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	グループ内で分担した公害に関する調査を進める。また、講義で扱うテーマを提示するので、それについてネットなどを使って調べる。(2h) 講義資料を復習し、理解を深める。(2h)		
キーワード/Keywords	実験廃液処理、公害、課題解決、リスク、化学物質管理制度		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。教材はPDFファイル等で提供する。 参考書:「基礎化学実験安全オリエンテーション」東京化学同人		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	予習と復習を前提とする。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は対面形式とオンライン形式のハイブリッド型で実施します。 具体的にはLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	定期的にニュースをチェックすることや、幅広い内容について読書することも、この講義の理解を深めるために有用です。前向きな取り組みを期待します！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：(オンライン)：担当 久保隆 科目の概要、狙い、位置づけ、到達目標、授業の方法、各単元の到達目標、評価方法を理解する。 課題探求と課題解決の方法について理解する。
第2回	実験時の安全：(オンライン)：担当 久保隆 実験に用いる薬品や器具等の基本的な取扱方法、具体的な安全対策について理解する。
第3回	安全・安心とリスク(その1)：(オンライン)：担当 久保隆 安全・安心の考え方、およびエラーとその対策概念の基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。
第4回	安全・安心とリスク(その2)：(オンライン)：担当 久保隆 化学物質の取り扱いに関するリスクアセスメントの基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。
第5回	毒性試験と毒性値：(対面)：担当 久保隆 毒性試験や毒性値の種類を学び、それらの意味を理解する。 GHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)やラベル表示の概要を理解する。
第6回	基準値等の設定：(対面)：担当 久保隆 化学物質の毒性に基づいた基準値や指針値設定の考え方を理解する。
第7回	特定化学物質の取り扱い：(オンライン)：担当 真木俊英 特化則(特定化学物質障害予防規則)の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第8回	有機溶剤の取り扱い：(オンライン)：担当 真木俊英 有機則(有機溶剤中毒予防規則)の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第9回	廃液処理システム：(オンライン)：担当 久保隆 本学の有機系及び無機系実験廃液処理施設の概要を学ぶ。また、本学の実験廃液管理システムについて理解する。
第10回	実験廃液処理施設の見学：(対面)：担当 久保隆 実施施設の見学を通して、廃液処理を体験的に理解する。また、廃液の分別の重要性を理解する。(受講人数や感染症の蔓延状況によっては実施できない場合がある。)
第11回	廃液に関する課題解決(その1)：(対面)：担当 久保隆 本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。
第12回	廃液に関する課題解決(その2)：(対面)：担当 久保隆 本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。
第13回	公害に関する課題解決(その1)：(対面)：担当 久保隆 公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。
第14回	公害に関する課題解決(その2)：(対面)：担当 久保隆 公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。
第15回	総括：(対面)：担当 久保隆 講義の評価を行い、改善点等について考える。小テストによる知識の定着の確認を行う。また、公害について世界に発信すべき教訓を考え、まとめる。

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587017301	科目番号 / Course code	05870173
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13001_005		
授業科目名 / Course title	b15海洋環境と化学物質 / Bioactive Compounds from Marine Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro, 石橋 郁人 / Ishibashi Fumito, 荒川 修 / Osamu Arakawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro, 石橋 郁人 / Ishibashi Fumito, 荒川 修 / Osamu Arakawa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fumito nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部新館1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2846		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後が望ましい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	海洋の生物には、薬理活性物質や魚介類の毒(マリントキシン)など、僅かな量で生物の生理や行動に対して特異的な作用を及ぼす物質(生理活性物質)を持っているものがある。本講義では、微量成分の量や組成を分析する方法や分離した有機化合物の化学構造を解析する方法の原理など、分析化学の基礎を習得すると共に、海洋の生物が生産する有機化合物の構造、種類、生理作用等について学ぶ。さらに、長崎県とその近傍における魚介毒に関する問題点や地域の特産品についての話題を提供する。		
授業到達目標/Course goals	有機化合物の分離・分析方法や構造解析法の基礎原理について説明できるようになること。 海洋の生理活性物質の種類、構造、生理作用等について説明できるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト・レポート等(60%), 授業への参加度(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 海洋の生理活性物質に関するトピックスを, 新書等の書籍, ビデオ, 新聞記事などを用 い調べておく。(2h) 事後学習: 講義内容の復習を行っておくこと(2h)		
キーワード/Keywords	分析化学, 物質の単離と精製, 機器分析, 海洋天然物, マリントキシン, 生理活性物質		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書 「物質の単離と精製」、大岳望他、東京大学出版会 「海洋生物のケミカルシグナル」、伏谷伸宏他、講談社サイエンティフィック 「基礎分析化学」 「有機化合物のスペクトル解析入門」、L.M.ハーウッド他、化学同人		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特に受講要件は設定しないが、高等学校の「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」程度 の化学及び生物に関する基礎知識を習得していることが好ましい。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	基本的にはすべての回の授業を対面で行いますが、変更が生じた場合はLACSにてお知らせします。	
学生へのメッセージ/Message for students	フグの毒などの海の生物が作る生理活性物質に興味がある方の受講を勧めます。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回(6/11)	担当：荒川 修 海洋の生理活性物質に関するトピックス，レポート作成	A
第2回(6/17)	担当：荒川 修 海洋の生理活性物質：一時代謝産物、分子模型演習	C
第3回(6/18)	担当：荒川 修 生理活性物質に関する演習：TLCによる茶葉色素の分析、レポート作成	F
第4回(6/25)	担当：石橋 郁人 海洋の生理活性物質：二次代謝産物	F
第5回(7/1)	担当：石橋 郁人 海洋の生理活性物質に関するグループワーク：資料作成	B
第6回(7/2)	担当：石橋 郁人 海洋の生理活性物質に関するグループワーク：プレゼンテーションと質疑応答	A
第7回(7/8)	担当：石橋 郁人 海洋の自然毒に関するトピックス（DVD鑑賞、講義）、レポート作成	F
第8回(7/9)	担当：石橋 郁人 化学物質の分離・分析：HPLC、ELISAなど（DVD鑑賞、講義）	A B C
第9回(7/16)	担当：荒川 修 化学物質の構造解析：MS、NMR（DVD鑑賞、講義）	F
第10回(7/22)	担当：荒川 修 化学物質の構造解析：簡単なNMRスペクトル解析（演習）	A B C
第11回(7/23)	担当：高谷 智裕 海洋毒に関する話題1（講義）	F
第12回(7/29)	担当：高谷 智裕 海洋毒に関する話題2（意見交換およびレポート作成）	A B
第13回(7/30)	担当：高谷 智裕 海洋毒に関する演習	A B C
第14回(8/5)	担当：高谷 智裕 海洋毒に関するグループワーク	A B
第15回(8/6)	担当：高谷 智裕 海洋毒に関するグループワーク：プレゼンテーションと質疑応答	A B

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587019301	科目番号 / Course code	05870193
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12951_005		
授業科目名 / Course title	b15海洋生物の遺伝子多様性 / Genetic Diversity of Marine Organisms		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	和田 実 / Wada Minoru, 石橋 郁人 / Ishibashi Fumito, 山口 健一 / Yamaguchi Kenichi, 井上 徹志 / Tetsushi Inoue, 小山 喬 / KOYAMA Takashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	和田 実 / Wada Minoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	和田 実 / Wada Minoru, 山口 健一 / Yamaguchi Kenichi, 井上 徹志 / Tetsushi Inoue, 小山 喬 / KOYAMA Takashi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miwada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟 4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2825		
担当教員オフィスアワー/Office hours	来訪する際は事前にメールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	分子生物学的な観点から海洋生物の多様性を考えるリテラシーを醸成する。そのためにアクティブラーニングを活用し、自ら進んで課題に取り組む姿勢を尊重する。		
授業到達目標/Course goals	分子生物学的な観点から海洋生物の多様性について説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	以下の項目を総合的に評価する。 1. 毎回の講義内容に関する自主学習の要約レポート作成・提出(合計14回分) 2. 全授業の総括レポート提出(1回)  配点は以下を予定。 1. 毎回レポート提出: 14回分 x10点満点/回 = 140点 (ただし、担当教員によってはレポートではなく、プレゼンテーションや小テストを課す場合がある。その場合も、採点は同様に行う。) 2. 総括レポート提出: 200点満点/1回 = 200点 これらの合計(340点満点)を3.4で割り、1人あたりの得点(100点満点)により評価する予定。  この他、開講期間中に変更が生じた場合は、連絡する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 遺伝子および機能性高分子(糖、脂質、タンパク質)に関して、参考図書や関連資料を読んでおくこと(2h) 事後学習: 学習した内容について授業後に必ずLACSの課題レポートとして提出すること(2h)		
キーワード/Keywords	海洋生物、遺伝子、生物多様性、微生物、共生、機能性物質、遺伝子解析手法		
教科書・教材・参考書/Materials	指定の教科書はないが、以下の参考書の通読を推奨する。 ・「はじめて学ぶ生命科学の基礎」 畠山 智充、小田達也 編著、化学同人、ISBN 978-4-7598-1454-5、定価; 2,300円+税		

受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。	
学生へのメッセージ/Message for students	本授業では「海洋生物の遺伝子多様性」について「自主的に学ぶための指針」を提供することを心がけています。 具体的には、海洋生物の遺伝子多様性に関わる課題について、「自ら調べた学習内容の発表」と「仲間の発表に対する評価」という2つを実践します。 従来の座学中心ではないため、与えられた課題について事前に予習しておくことがとても大切になります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	和田 実/共同利用研究所の研究船および附属練習船で教員として野外調査の経験を持つ/実務経験を活かして、海洋観測調査の経験や技法を授業で写真や動画を交えて紹介し、海洋生物の多様性を考えるリテラシーを醸成する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	全体説明（対面）：担当 和田実、井上徹志、小山喬、山口健一	A B
第2回	海洋微生物の遺伝子多様性1（対面）：担当 和田実	A B
第3回	共生の多様性1（対面）：担当 井上徹志	A B
第4回	海洋微生物の遺伝子多様性2（対面）：担当 和田実	A B
第5回	共生の多様性2（対面）：担当 井上徹志	A B
第6回	海洋微生物の遺伝子多様性3（対面）：担当 和田実	A B
第7回	共生の多様性3（対面）：担当 井上徹志	A B
第8回	海洋微生物の遺伝子多様性4（対面）：担当 和田実	A B
第9回	機能性物質の多様性1（対面）：担当 山口健一	A B
第10回	機能性物質の多様性2（対面）：担当 小山喬	A B
第11回	機能性物質の多様性3（対面）：担当 山口健一	A B
第12回	生物多様性の解析1（対面）：担当 小山喬	A B
第13回	生物多様性の解析2（対面）：担当 山口健一	A B
第14回	生物多様性の解析3（対面）：担当 小山喬	A B
第15回	機能性物質の多様性4、生物多様性の解析4（対面）：担当 山口健一、小山喬	A B

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587020501	科目番号 / Course code	05870205
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14731_005		
授業科目名 / Course title	b16海洋の生物と科学 / Marine Fishes and Applied Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 征矢野 清 / Soyano Kiyoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 征矢野 清 / Soyano Kiyoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環の2年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	阪倉:sakakura_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に変更して送信してください) LACSのメッセージ機能ではなく、このメールアドレスに直接メールして下さい。		
担当教員研究室/Office	水産増殖学研究室(総合教育研究棟4階)		
担当教員TEL/Tel	阪倉(819-2823)、征矢野(850-7701)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	海洋生物資源の生産・培養に関する原理や方法などについて、現代社会における実課題例を交えながら学ぶ。ここで挙げる実課題とは、世界的な課題のみならず、我が国有数の養殖県である長崎県の事例も取り上げる。このように、海洋と海洋生物の科学について基礎から応用まで多面的に学習することにより、幅広い教養と共に、環境と調和した持続可能な社会を実現するためには何をすべきかを考える能力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	海の生物と人との関わりを理解する。 養殖に関するグローバルな動向と長崎県の位置付けも併せて理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート, 期末試験(100%) 合計で60%以上を取れた者に単位を与える。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義内容を効率良く理解するため、そして講義中になされる教員の質問に解答することができるためにも、その回に取り上げられるトピックを予習しておくことが推奨される(2h程度)。この講義で扱う分野は多岐にわたるとともに、相互に関連している。各試験の直前に復習したのでは、正確な理解を身につけることは難しいため、毎回復習すること(2h程度)。		
キーワード/Keywords	多様性・プランクトン・魚類・繁殖・生態・養殖・長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	講義資料を適宜配布する。 また、それらの一部はLACS上で公開する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式かオンライン形式のハイブリット型で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	身近のニュースなどで漁業や農業関係のものにも目を向けてみましょう。 生命現象の基礎科学が応用（養殖）にどのように結びつくのかという視点を持って欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス 本講義の概要 世界、日本および長崎県の養殖業について（対面）：担当 征矢野清
2-6	長崎ブルーエコノミーについて（対面）：担当 征矢野清、阪倉良孝
7-14	魚類の完全養殖の技法（対面）：担当 阪倉良孝
15	定期試験（対面）：担当 阪倉良孝
16	講評および解説（対面）：担当 阪倉良孝

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240587054301	科目番号 / Course code	05870543
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15441_005		
授業科目名 / Course title	b16環境関連法とアセスメント / Environmental Assessment and Related Domestic Laws		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	近藤 能子 / Yoshiko Kondo, 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 久保 隆 / Kubo Takashi, 竹内 清治 / Takeuchi Seiji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	近藤 能子 / Yoshiko Kondo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	近藤 能子 / Yoshiko Kondo, 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 久保 隆 / Kubo Takashi, 竹内 清治 / Takeuchi Seiji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	近藤 (yoshikondo nagasaki-u.ac.jp) * 科目担当教員 竹内 (stakeuchi nagasaki-u.ac.jp) 竹下 (juniper nagasaki-u.ac.jp) 久保 (kubo-t nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	科目担当教員 (水産学部本館3階A86)		
担当教員TEL/Tel	科目担当教員 (095-819-2840)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	科目担当教員 (研究室にて随時 (平日10時-17時))		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境問題に関する考え方、国際環境法や国内の環境基本法の理念について学び、現在の海洋環境問題を捉えていく。水質汚濁や護岸工事等の公共事業から自然環境を保全・修復していくことを目的とした環境アセスメントの手法やその評価について、また、海洋生態系の劣化を抑制していく技術革新について考えていきます。		
授業到達目標/Course goals	海洋などの水圏環境で起きている環境問題について列挙し、その問題の本質や、利害関係、矛盾点、解決への施策について、知識を元に議論することができ、また、第3者にわかりやすく説明することが出来るようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業に取り組む姿勢 (出席状況に加え、ディベート等での点数、小テスト等への回答) で60%、授業で課されるレポート (アンケート等を含む) で40%の点数をつけます。60%以上で合格とし、期末試験はありません。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業で取り扱うテーマ、理論、用語について事前に予習し (2時間)、授業で得た新たな知識等について復習すること (2時間)。		
キーワード/Keywords	海洋環境、環境関連法、アセスメント		
教科書・教材・参考書/Materials	教材・資料は毎回授業開始時に印刷で配布するか、LACS経由にてアップロードして電子ファイルとして配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席が原則ですが、やむを得ず欠席する場合は、理由と共に教員に事前連絡をするようにしてください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	授業の実施方法は基本的には対面方式で行いますが、状況によってはオンライン形式となる場合もあります。 実施形式については事前にLACS経由で連絡をします。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	(近藤) オリエンテーション。授業への参加者の人数にも依りますが、参加する学生のバックグラウンドを共有して、今後の授業作りに役立てていきます。海洋における土木工事や発電所建設等に伴う海洋環境アセスメントの実態、アセスメント会社の仕事内容、水産学部における海洋調査の内容、民間業者等による海洋環境の復元事業などについて、紹介していきます。
第2回	予備日
第3回	(近藤) 有明海の諫早干拓堤防の開門問題について、生物・化学的な調査、司法判断等の多方面からのレクチャを行います。
第4回	(近藤) 有明海の諫早干拓堤防の開門問題についてのレクチャの続きに加え、その是非や、今後のあるべき展開についてレポートしてもらいます。
第5回	(近藤) 福島第一原発事故の海洋化学・水産科学的側面についてのレクチャを行います。
第6回	(近藤) 福島第一原発事故の海洋化学・水産科学的側面についてのレクチャの続きとこれからの海洋環境・生態系保全についてレポートをしてもらいます。
第7回	(竹内) 海底生態系と環境影響評価(その1) : 主に海底生態系保全における環境影響評価の重要性を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第8回	(竹内) 海底生態系と環境影響評価(その2) : 海底鉱物資源開発が深海底生態系へ及ぼす影響と、その対策に向けた近年の研究動向を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第9回	(竹内) 海底生態系と環境影響評価(その3) : 環境影響評価が海底生態系の保全にどのように役立てられているのかを理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第10回	(久保) 国際環境法の歴史と特質, 人間環境宣言 環境に対する基本的な考え方(環境倫理等), 二国間の紛争解決のための条約から国際共同体全体の利益を管理する取組へと移行した歴史と現代の国際環境法の特質, 更にその移行の転機となった「人間環境宣言」の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第11回	(竹下) ソフト・ロー的文書 法的拘束力のない文書の役割とそれらの文書の中から、世界自然憲章、森林原則声明、環境と開発に関するリオ宣言及びアジェンダ21の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第12回	(久保) 第二世代の国際環境法(その1) 第二世代の代表的な国際環境法のうち、生物多様性条約及び気候変動枠組条約の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第13回	(竹下) 第二世代の国際環境法(その2) 第二世代の代表的な国際環境法のうち、パーゼル条約の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第14回	(久保) 日本の環境と環境政策 日本における環境問題とそれらへの対策の考え方や歴史, さらに国際環境法との関係等を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第15回	(竹下) 環境基本法 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の概要, 目的, 基本理念及び各主体の責務を中心に理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第16回	(竹下) 環境基本計画 日本における環境政策の基本となる環境基本計画の概要を中心に理解し、簡潔にまとめてもらいます。